大正九年十二月十四日第三種郵便物認可　昭和十二年八月十三日　新京日日新聞　（金曜日）　第五千二百二十九號　（一）

新京日日新聞
夕刊
八月十二日

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓五拾錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用三三〇五 營業局專用(3)(3)二二〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

海軍中央部重大回訓 一兩日中に發出

上海方面の局面展開せん

【東京國通】わが海軍では大山事件突發以來極めて愼重なる態度を持すと共に諸般の整備に萬遺漏なきを期し、まづ事件直後日支共同調査を行つて今回の事件が全く支那側の不法行爲によつて發生したものであり、その責任は全く支那側にあるのを明白ならしめたので、最早支那側の出方を待つのみとなつた、しかして帝國政府のとるべき根本方針については愼重な態度を持し長谷川第三艦隊司令長官より本省に請訓を仰ぎ次第直ちに海軍中央部は省部聯合首腦部會議を開き、既定不動の方針に則り重大回訓を發するはずで早ければ十二日中になされるであらうから今次の大山事件發生を中心とする局面の推移はこゝ兩三日中に最も關心を拂ふべき展開を見せることゝならう

既に萬般の對策成り 現地に措置を一任す

定例閣議以外は必要に應じ參集

【東京國通】政府は時局の重大化に鑑み定例閣議以外に於ても連日首相官邸に閣僚の參集を求め待機の姿勢で萬全を期してゐたが、すでに帝國政府の不動の方針は確立し支那側の出様を俟つて對處すべき萬般の方策は決定するに至つたので最早現地當局に措置を全面的に一任すれば充分となし、十一日の閣僚會議において各閣僚協議の結果定例閣議の日以外は水曜日を政務官との連絡を含めて閣僚の參集日となし、その他は特別の必要なき限り閣僚會議を取止め、事態の推移を注視することゝなつた

「艦隊は兵力を增强せり 居留民は信賴、靜觀せよ」

―第三艦隊參謀長發表―

【上海十一日發國通】第三艦隊は兵力増加に關し十一日午後五時第三艦隊參謀長談の形式をもつて左の如く發表した

わが第三艦隊は現下の時局に鑑み在支居留民の保護に遺漏なきを期し、努めて愼重冷靜の態度を持し來れり然るに最近上海に於る支那側の挑發的戰備は徐々住民に脅威を與ふるに至りたるのみならず、八月九日起りたるわが將兵虐殺事件により更に帝國居留民生命財産の緊迫せる危險を感ぜしむるに至りたるもつて、本日第三艦隊は當面の警備に必要なる若干兵力を増加せしめたり、然れどもこれにより第三艦隊の警備方針は何等變更を加へられたるものにあらずして依然として帝國政府の時局不擴大の指針を堅持するものなり

帝國居留民諸氏は兵力増加により一層内容を充實したるわが第三艦隊の嚴然たる存在に信賴し流言蜚語に惑はされることなく、整然として一糸亂れず統制の下に靜觀されんことを望む

戰局擴大する時は 支那財政は破綻

無統制暴露は必至

【東京國通】日支事變勃發以來南京政府は財政極度に逼迫し、財界大混亂の兆あるので幣制の維持に、公債價格の暴落防止に、資源確保のための貿易統制に、各種の手段を講じて戰時財政を整へつゝある一方、列國の對支援助を得ることに狂奔し、遂に二百七十萬ポンドの對英借款（廣梅鐵道借款）に成功したと傳へられる、しかし事變初期においては南京政府の國內的戰時經濟對策も一應の效果はこれを期待し得やうが、戰局擴大するにおいては南京政府獨自の統制力のみをもつてしては破綻を生ずべきこと必至で、結局列强の對支經濟的援助にまつほかなく、しかも列强として支那の希望するが如き積極的援助を與へざる場合は支那財界の混亂は遂に收拾すべからざる狀態に至るであらうとみられてゐる

孔財政部長狂奔

【ベルリン十日發國通】國民政府財政部長孔祥熙氏は十日午後ベルリン近郊の別莊にドイツ經濟相シヤハト博士を訪問して極東の情勢を說明したのち、獨支經濟提携の緊密化相互貿易の推進および一九三六年獨支武器借款擴充を要求したが、シヤハト博士からは國民政府の容共政策、對日政策等につき辛辣な質問をあびせた模樣である、孔祥熙氏は十一日さらにドイツ外務省を訪問獨支接近工作に努力するものとみられるがドイツ政府は英、米、佛三國の對支態度を注視し殊に北支事變に對しては嚴正中立の建前を堅持して來つた關係上この際武器借款擴充には反對するものとみられる

獨流鎭の支那軍擊退

【天津十二日發國通】十一日午後十一時過ぎ獨流鎭方面に支那軍攻擊し來つたが、わが軍は直ちにこれを擊退、敵は死體八を殘して敗走した

今拂曉空陸呼應し 南口鎭攻擊開始

八十九師掃蕩を期す

【昌平十二日發國通至急報】天嶮と築城の完壁を頼みとし戰車、迫擊砲を擁して南口鎭に立籠る中央軍第八十九師に屬する敵を掃蕩すべく○○、○○兩部隊は十一日午後四時攻擊を開始し敵陣を去る半里の龍虎臺を占領相對峙して一夜を明かしたが、十二日午前五時半わが軍は○○○○部隊の砲擊を皮切りに皇軍飛行機○機も參加し空陸呼應して壯烈果敢な攻擊を開始した、尙前線部隊の進擊と同時に昌平の○○部隊は南口鎭に向つて出發した

「あくまで外人の生命財産は保護」

岡本總領事、外交團に聲明

【上海十一日發國通】上海領事團首席ノールウエー總領事エウナール氏は十一日午後四時日本總領事館に岡本總領事を訪問し、十日の領事團有志會議の決議を手交し、戰禍が上海租界におよばぬやう配慮方を要請した

これに對し岡本總領事は外國人の生命財産の安全保護について最善を盡すことは從來も將來も變りはないと强調し、租界の平和を脅威してゐるのは全く支那側の不法挑戰行爲にある旨を指摘し日本側は上海の治安および租界の平和を維持する既定方針を堅持する旨聲明するところあつた

鐵路を破壞して 八十九師總退却

【天津十一日發國通】十一日わが○○機が南口方面を偵察したところによると、南口、岔道城間の戰橋二ケ所および南口北方の鐵橋は破壞されてゐるが、これは線路を取りはづした程度に過ぎない、午前十時半頃西方に向つて退却せんとした列車は岔道城トンネルにその半身をはみだして停車したまゝ動かず、之はわが爆擊を極度におそれ日の暮れるのを待つてゐるのであらうなほ多數の貨車も西方に據つて[illegible]の體勢にあり、鐵路の破壞と相俟つて八十九師の退却工作は相當活潑に行はれてゐる、沿線各部落は寂寞として人影もなく岔道城より先方には部隊らしき敵の影もないこれはいづれも夜陰に乘じて遁走をはかり姿をかくしてゐるのであらう、午後四時二十分頃南口驛は火災を起し、黑煙は天に沖し敵兵の四散する情況が看取された

人形を使つて 遁走を圖る 笑止八十九師

【天津十二日發國通】第八十九師が難攻不落と誇つた南口の要害も皇軍部隊の猛攻に脆くも潰えたが、その際敵は笑止にも無數の人形を陣地に配置してわが軍の砲火をその人形に集めさせ、その虚に乘じて遁走せんとしたが、皇軍がこの樣な欺瞞に乘ぜられやう筈はなく、逃ぐる敵を追つてわが砲彈は正確に潰走兵の上に落ち、敵は燃え上る陣地をあとに總退却となつたのである

南口附近中央軍

【天津十二日發國通】南口附近の中央軍は第八十九師の二百六十五旅である

保安隊員の死因は 同志討と斷定

【上海十二日發國通】支那保安隊員時景哲の死體解剖は十一日午前十一時半より午後二時半まで眞茹法醫學研究所において孫南京政府司法部法醫學研究所長執刀のもとに有馬軍醫少佐、工部局主任刑事立會の上行はれたが、その結果につき左の如く談話を發表した

一、彈丸は右肺部より左胸部に貫通したるものなり、一彈は背中より胸に水平にあるにあらず
一、下より上に向つたものにあらず
一、自動車内より射つた彈は下より上又は左肺部より右に出るが至當なり
一、彈は途中骨に當つたに拘らず貫通せるを見れば相當强力なものにして拳銃彈にあらず
一、拳銃で强力なスピードを出すには相當近距離にて射擊せねばならぬが、初入孔には火藥が附いてゐない點より見れば近距離よりの射擊にあらず、從つて拳銃より發射せる彈丸にあらず
一、よつて小銃彈丸と看做すゐる、これはかけ足の際に射擊されしものにあらず
一、死體の姿勢は兩足を左右に開き兩腕を互に組合せてゐる、右諸點より考察するに自動車內より發射せる彈丸にあらずと斷定す

日華紡吳淞工塲 操業休止

【上海十二日發國通】日華紡吳淞工場は支那人職工二百が十一日早朝全部歸鄕したので操業休止の已むなきに至り、僅か十五名の邦人が工場を看視してゐる

日本在留支那人 引揚げ決定

【南京十一日發國通】北支事變以來日本在留支那人は船便あるごとに續々引揚げを行ひつゝあるが、まだ在留するものの多數あるので外交部では十一日中に駐日各領事館に訓電を發し各居留民を一先づ横濱神戸、長崎の三ケ所に集中せしめ招商局より商船六隻を派して歸國せしめることに決定した

支那保安隊 佛租界方面進出

【上海十二日發國通】當市西部方面では十一日午後に至り支那側武裝保安隊は虹橋路を佛租界方面へ向つて俄かに進出を開始し、滬杭鐵道踏切まで進んで來た、これがため邦人石崎良二氏經營の牧場愛光舍は保安隊に取圍まるゝに至り危險が迫つたので、同所の邦人全部は家財をそのまゝ共同租界に引揚げた

人事往來

着京

▲森下義之助氏（淸水組）十一日來京國都ホテル
▲野口重男氏（官吏）同
▲平山暢邦氏（三菱重工業）同
▲尾關豐次郎氏（商業）同
▲木崎求雄氏（滿洲製糖）同
▲深水壽氏（滿洲工業常務取締役）同
▲平松明氏（岡組）同
▲松森正重氏（南昌工業）同
▲瀧口泰明氏（滿洲輕金）同
▲奧津三郎氏（滿洲鹽業）同
▲宮副義智氏（三和ゴム）同
蓬萊ホテル
▲中西保太郎氏（中銀）同
▲馬場六之助氏（同）同
▲高田精作氏（滿鐵）同
▲山本慶治氏（同）同　國際ホテル
▲菅原八郎治氏（教員）同
▲松村忠男氏（官吏）同
▲福里三代太氏（同）同　愛國ホテル
▲田代名兵衛氏（會社員）同
▲小谷薫氏（同）同　富士屋
▲星川義範氏（滿鐵）同
▲長岡源次兵衛氏（京城日報大連支局長）同
▲宮下操氏（會社員）同
▲下閭韜一氏（請負業）同　新京ホテル
▲中村軍良氏（延吉林務署長）同
▲一寸木政蔵氏（國際運輸）同

出發

▲武谷信吉氏　十一日發錦州へ
▲丹下孝之氏（記者）同
▲瀨戸口精治氏（同）同
▲積山昇氏　同京城へ
▲蕊田聖三郎氏　同
▲樒爪金吾氏　同
▲見上正平氏　同通遼へ
▲下山只一氏　同ハルビンへ
▲平山暢邦氏　同
▲阿部重兵衛氏　同
▲大久保宅次氏　同
▲土山哲夫氏　同
▲野添孝次氏　同奉天へ
▲坂本宗倫氏　同
▲月岡一生氏　同
▲加藤助三郎氏　同
▲太田好治氏　同
▲田中安太郎氏　同大連へ
▲落合兼行氏　同
▲平田長登氏　同
▲内田勝二氏　同
▲布施忠司氏　同
▲村川五郎氏　同
▲岡村淳氏　同
▲細梅榮太部氏　同
▲竹内喜太郎氏　同奉天へ
▲梅津理三氏　同
▲蘙山良一氏　同
▲紙谷起領氏　同

その日〳〵

□
南口不落どころか、はやくも中央軍算を亂して退く、斯くては强硬派も逃げたからう

□
わが靜觀の前にのみ虛勢張り、斷乎威を示せば蹌踉として崩るる類ひであらう

□
颱風に損じた支那の飛行隊まだしもわが正義の彈受けず濟んで仕合せか

□
不正業者膺正、まだそんなのがゐたのかと單純なる沛中をおどろかす

□
阿片の斷禁へ、それとともに滿洲國人のための健全な娛樂は考へられてゐるのか

白い天使

（禁上演上映）
林房雄作
吉田貫里畫

（六三）

坑夫の子（二）

そのころ、かれが間がりをしてゐた古道具やに、田舎からきた親類の子だといふ、頬の赤い、眼のうつくしい娘がゐた。

この話を秀夫にするときの篠田の顔は、めづらしくぽつと赤らんでみえた。

娘は近所の小さな裁縫店のミシン工にかよつてゐた。

篠田は、その娘と話しをするのがすきであつた。

給料日には銀色のコンパクトや豆大福のつゝみを娘のためにかつてかへつたりした。

やすみの日には一しよに活動をみにゆくこともあつた。

たれにもいへない幸福が、若い篠田の心をつゝんでくれた。

そのうちに、娘のみなりが急にけばけばしく、花やかになつてきた。

よくひとりで家をあけ、篠田と一しよにあるくのはもちろん話しをするのもいやだといふそぶりをみせはじめた。

裁縫店の息子と、いゝ仲になつてゐるといふ、うわさが近所にたつた。

しかし、それが、娘がすてられたといふうわさにかはつたのは、まもないことであつた。

娘は、家をとびだして、おかしなカフエーの女給になつてしまつた。

篠田は娘にあつて、家にかへることをすゝめたが、娘はきかなかつた。

——蒼ざめたひたひに、けはしく眉をよせて、反抗的に首をふつた。

篠田は、ひきつけられるやうにそのカフエーにかよつた

……だが、かあいらしかつた娘の姿が、お化のやうに化粧のかげて、みるたびごとに色があせ、肉がおとろへ、きがすさんでゆくのをみると、たえられなかつた。篠田は下宿をかはつた。

娘のゐるカフエーにはぴたりと足をたち、みだれようとする自分をひきしめて、仕事と勉強にはげみだした。

そのとき、急に、首にされてしまつた。——たゞ會社の都合だといふそれだけの理由で。

また絶望的な失業の日が續いた。自分の正しい努力にもかゝはらずすべての希望が、このやうにしばしば、うちくだかれ、ふみにじられるのをみると、篠田は世の中をうたがはざるをえなかつた。

ひらきかけた眼で、たどつてきた。

一生をふりかへつてみると自分のみか、父も母も、そだちきれずに死んだ兄も妹も—そのすべてが、この怪物のやうな社會のみじめな犠牲であつたことが、まざまざとわかるやうな氣がした。

はげしい虚無がおそつてきた。

まつくらな前途、救ひやうのない生活！

……絶望の底で、篠田は、きずついた一ぴきの蛇のやうに、身もだえ、われとわが身をかみ、目的のない反抗に身をよぢらせた。

『この絶望のどんぞこから、おれがふたゝびあがるには、どれだけの努力と時間がいつたか——多分おまへにはわからないかもしれん』

と篠田は、秀夫の顔を、まともにみつめながらつゞけた

『なんど死なうと思つたか知れん、同じ死ぬなら、しやくにさはるやつを五六人道づれにしてやらうかと思つた。…だが、まあ幸ひに、自殺もせず、やけもおこさず、どうやらけふまで、いきのびた』

みのり

秋穂豪雨にも落ちず、すくすくとのびた郊外畠地に今日の幸を喜こぶ農夫等の顔、空に似て晴れやかな色赫々と土に親しむ黍の穂に明日の生活をたゝへ合ふらし、みのる秋を前に見て收穫こそたのし郊外所見

祈る皇軍の武運

寂・曉の神殿にぬかづき

今日嚴かな祈願式

暴戻支那軍膺懲の聖戰に日夜奮闘をつづけつゝある、北支出動皇軍將兵並に滿鐵社員に感謝の意を表し併て武運長久を祈る滿鐵社員會新京聯合會の祈願祭は八月十二日午前五時三十分から新京神社社殿前に於て嚴かに執行された

曉天をついて集る社員約二千五百、式は本島庶務部長の開會の辭に始まり一同國歌奉唱新京神職の修祓祝詞奏上ありて菅野聯合會長以下各分會長恭しく玉串奉奠衷心將兵並に社員の武運長久を祈願しついで菅野會長時局に關する社員會幹事長の告辭を朗讀別項の如く香月支那駐屯軍司令官、伊藤天津事務所長宛感謝文案を朗讀滿場拍手をもつて應へ直ちに打電することに決定新京聯合會よりの派遣社員に對してはこの感謝文の寫しに新京神社のお守りを添へて直ちに送附することとし六時十五分解散した（寫眞は祈願祭式場）

感謝文

同は本朝新京神社に參拜し日夜御健闘の閣下並將兵各位に深甚なる謝意を表すると共に日支國交の禍根たる支那軍を徹底的に膺懲し以て東洋永遠の平和確定のため切に各位の武運長久ならむことを祈願す

昭和十二年八月十二日

滿鐵社員會新京聯合會
會長　菅野誠

香月支那駐屯軍司令官閣下

感謝文

暴戻なる支那軍に對する徹底的膺懲の義擧たり同僚各位は特に第一線に在りて日夜奮闘克く皇軍に協力し光輝ある滿鐵精神を發揚しつつあるは感謝に堪へざる所なり滿鐵社員會新京聯合會員一同は本朝新京神社に於て祈願祭を執行し謹みて各位の御健闘を祈ると共に會社使命の達成に邁進せられむことを希ふ

右在北支社員各位に御傳達を乞ふ

昭和十二年八月十二日

滿鐵社員會新京聯合會
會長　菅野誠

伊藤天津事務所長殿

無念の思出新た

田場、藤澤兩氏の遺骨二体

朝の新京驛に着く

通州事件の犠牲者外務局田場、藤澤兩氏の遺骨は十二日午前八時五十分着列車で現地まで出迎への各遺族、松村宣傳科長等に護られて凱旋した、驛頭には田邊參議府副議長、澁谷警務司長、筒井外務局政務處長、岡本郵政總局副局長、升内管理處長を初め多數外務局員等の出迎へを受けて直ちに妙心寺に安置されたが、暴戻支那軍の犠牲となつた英靈に驛頭の人々は涙をそゝられた、なほ葬儀は合同慰靈祭とは別に十四日午後二時告別式が營まれることになつた、（寫眞は驛頭にて）

支那軍閥の暴狀

國通瀬沼部長放送

北支における事態はいよいよ重大危局に直面してゐる折柄　滿洲國通信社調査部長瀬沼三郎氏は最近における北支及び支那問題につき十二日午前十時より廿分間に亘り新京放送局から支那軍閥の暴狀を詳細に亘つて講演、各方面に非常な感動を與へた

横領犯

梅ケ枝町で捕る

本籍北海道檜山郡上の國村字汐吹、住所不定竹内正雄（二六）は本年四月頃窃盜罪により新京署で徴罪處分の情けに釋放され以來特別市興安大路五、京張室洗布所外交員として勤務中同店一時預り品のオーバー、毛布其他衣類ゝ次々に窃取入質して花街に出入遊興に費消してゐたが、罪重なると共に發覺を恐れ去る七月中旬得意先より三百圓を集金横領して逃走したもので爾來新京署に於て捜査中であつたが十一日午後七時頃梅ケ枝町三丁目路上で徘徊中を同署財前刑事が逮捕した

今様阿波の鳴戸

瞼の母を尋ねて

六年前の樂しき追憶を追ふ

初秋に淋し五人の子

幼い五人の子供を捨て行方不明となつた親を探し求め〃父母はいづこ〃と今様阿波の鳴戸にも似た捜査願が十二日新京署に提出された、尋ねる人は兵庫縣尼崎市常光寺三二三石田幹夫君（一六）で尋ねられる人は本籍北海道千歳郡恵庭村字漁村石田みつさん（三七）である、幹夫君には現在十八の姉と三人の弟妹のある五人兄弟であるが、彼等が未だ幼い頃故郷北海道に於て両親は相當手廣い商賣に幸福な家庭に育くまれたがある手違から商賣に失敗し父は妻と五人の子を残して行方不明となり、みつさんは五人の子供を抱へてそれから約半年程生活と闘つたが今より約六年前昭和七年十一月無情にも子供を残して家出行方不明となつた、五人の子供はそれぞれ知人親類に預けられ離れ離れに涙の幾年を經て成長して行つた、然し兄弟の一時も忘れ難いは両親であり、樂しかつた在りし日の追憶であつた、然る時幹夫君は風の便りに母は新京のある料理店に於て仲居奉公をしてゐるとのことを聞き思慕の情やる方なく

『せめて母でも居てくれたなら兄弟もみんな呼び寄せ一緒に生活したいと思つてゐます、捨てた親をにくいとは思ひますがなつかしく逢ひたさはそれ以上熾烈でございます、何卒お力添へを』と母の捜査願を提出したものであつた

工事場泥

阿片代を稼ぐ

南關で御用

十二日午前六時ごろ南關全安橋々上を金槌三個を所持徘徊する擧動不審の男を首都警察廳藤警長外二刑事が引致取調べると山東省生れ、特別市家店胡同門牌一號無職郭明良（二十五）と稱し所持の金槌は大同廣場中銀工事場から盜み出したことを自白した去る八日午後七時ごろ中銀工事場で就業中の職人達が折角の降雨にノミ、金槌、鉋類を其場に殘しほうほうの體で工事場假小屋に雨を避けたその隙に侵入、投げ出してあつたノミ三十三個、金槌七個、鉋五個を大きな袋に背負い込んで逃走右贓品は南關の古物商裕盛德に次々に賣りこみ阿片吸飲代に當てゝゐたがこの日も殘つた金槌を持ち出してきたところを惡運盡きて逮捕されたもの餘罪取調中

錦承線復舊

五日以來水害のため列車は不通となつてゐた錦承線は十二日午後五時ごろに復舊の見込みである

關口副總監

歡樂街巡視

首都警察廳關口副總監は十二日午前十一時、來る十月三十一日までに特別市全娛樂機關の移轉完了を見る東門街歡樂街『新天地』の巡視をなした

銃後の赤誠つゞく

藥業組合から

六百圓を寄託

心からなる高女生の献金

本社扱

十二日午前中本社へ來訪した特別市光耀路洪盛堂藥局主宮崎竹次郎、永樂町東亞號藥房主仲田三郎の兩氏は新京藥業組合を代表、同組合醵出の金六百圓を提出、恤兵献金の手續を依頼あり本社ではその手續きを了した、十二日午前中本社の恤兵金取扱所の机の上に、これをどうぞよろしくと封筒入りの金を置いて歸つた一女學生がある封筒の中から金二圓七十八錢ゝ別項の如き手紙が添へてあつた

立秋を過ぎたとは云へまだお暑くございます、この酷暑をおかして御奮闘下さる北支の兵隊さん達、私達は何と云つてお禮をしたらいゝでせう、私達は一月からわづかばかしのお小遣のあまりや、馬車賃の節約のお金を貯金致して居りましたこれに家中から少しづゝ献金していただいてわづかこれだけのお金が出來ました本當に少しでおはづかしい事ですが、私達姉妹の心をお汲みとり下さいまして献金の一部へお入れ下さいましたら幸ひと存じます、それではどうぞお願ひ致します（原文のまゝ）

敷島高女四學年一組一生徒
錦丘高女一學年二組一生徒

新京日日新聞社御中

王座目指して

全新京各個所對抗庭球戰

壯、十五日西公園にて

本社主催第二回全新京各個所對抗軟式庭球大會は十五日午前九時より西公園コートに於て盛大に擧行されるがこの壯擧發表と同時に滿洲國政府軍新京警察署、交通部、財政部、滿鐵、中銀、興銀、日滿商事郵便局、滿炭、市公署、宮内府、電々、電業、水電、産業部、民生部、司法部と申込み相踵ぎ、名實共に全新京テニスマン總出場の大會で名譽ある武部關東局總長盃の大爭奪戰當日の盛況は國都庭球界空前の盛事と豫想されてゐる未申込みの團體は明十三日正午の締切におくれぬやう至急本社宛申し申し込まれ度い、なほ本社では同申込みに依り明十三日午後四時より西公園コートに於て審査會を開き嚴正な抽籤に依り組合せを決定する、大會當日の順序並に役員左の通り

大會順序

一、入場式（役員選手一同入場）正九時
一、開會の辭
一、カップ返還式
一、會長挨拶
一、審判長注意
一、試合
一、優勝旗並に賞品授與
一、閉會の辭
一、萬歳三唱

大會役員

會長　上田本社代表
總務　加藤（新京體育聯盟）
〃　麻生（滿洲國體育聯盟）
〃　伊藤（本社）
審判長　岩瀬（三笠小學校）
審判員　庭球聯盟審判員並に各チーム選出審判員
庶務　梅澤（市公署）

拉致された

滿鐵社員判明

既報七日午後九時隆化縣第一區石灰窟に宿營中平西匪團のため拉致された滿鐵産業部鑛業調査隊員は柳川春間、古川重夫、中條寅喜、杉田某の四氏なること判明した

進行係　中村（滿鐵）谷岡（電々）長興（民生部）
記錄係　工藤（日滿商事）井崎（ゴム會社）
引出（電々）小根山（電業）

哈市の滿人

二千四百圓

皇軍慰問獻金

十一日午前十時頃傳家甸日本憲兵分隊に孫輯辰ほか六名の滿人が訪問、北支皇軍慰問金として二千四百圓を獻金したものであるが北支の酷暑をものともせず奮闘してゐるのは北支をして我が滿洲國同様の安民樂業の理想郷たらしめんとする破邪顯正の聖戰にほかならず、今日まで軍閥の壓迫下に呻吟してゐた北支三千萬民衆をこの際是非日本軍の手で救つて戴きたいといふ熱意から保甲管内五十六名の有志が醵金したものである

桑原修司氏

郷里に重大事

廣島縣人桑原修司氏に就き現住所不明の爲め郷里に於ける重大要件發生の通知不能に付き本人は至急郷里に通知されたく知人は其旨本人に通知されたし

在哈邦人

三萬五千八百十三人

領事館警察調査による哈爾濱在留邦人の現勢はつぎの如くである（七月末現在）

日鮮人總戸數　一萬一千六十六戸
總人口數　四萬二千四百四十六人

これを昨年同期に對比すれば千九百廿六戸、四千五百九十一名の激増を示してゐる

内譯
内地人戸數　九、九七九戸
男子　二〇、五四一人
女子　一五、二七二人
半島人戸數　一、六六七戸
男子　三、四九四人
女子　三、一三九人
合計　六、六三三人
合計　三五、八一三人

承德國婦會員

二百餘圓獻金

滿洲國國防婦女會承德支部邢支部長以下會員は、十一日朝特務機關を訪問し酷熱の北支に働いてゐる皇軍に感謝の意を表すると共に、二百十八圓五十錢を國防費の一部に充當されたいと申出で來たので、機關長は感激し、直ちに陸軍大臣宛獻金の手續をとつた

龍王廟の水害

鳳城縣龍王廟河畔は連日の出水により遂に民家四百戸流失し、死者百名、負傷者數百を出し辛うじて避難した者も食料難に陷り飢餓に瀕してゐる鳳城縣公署では取敢へず十一日朝馬五十頭に食料を滿載して現地に急派した

國都建設記念準備委員會

參與追加發令

滿洲國政府は十二日附をもつて國都建設記念式典準備委員會參與を左の如く追加發令

尙書府秘書官長　武宮雄彦

國都建設記念式典準備委員會參與を依囑す

村上署長轉出

【瓦房店支局】轉出を惜まれてゐた人情署長村上幸助氏は十日はとにて盛大な見送りを受けて單獨赴任、家族も近く赴率のはず

佐々木、武部理事

滯京中の佐々木理事は十二日午後九時五十分發列車で武部理事は十三日午前零時の列車でそれぞれ離京の豫定

梶谷參事官榮轉

梶谷交通監督部參事官は今度宮崎郵便局長に榮轉、十二日午前十時發はとで赴任した

滿鐵辭令

（八月一日）

新京青年學校指導員を命す　中尾ツユ子　富ミス

故谷幽香子さん

追善に寄附

市内東二條通り五六谷一一氏は十一日長女幽香子さんの忌明に際し故人の冥福を祈るため、防空關係、新京敎齊院、新京綠化事業、新京高野山金剛寺、東京實踐女子專門學校同校國文科三年クラス會、新京敷島高女音樂會、郷里の菩提寺並に婦人會等へ金一封宛を寄附した

あす（十三日）

▲簡閲點呼第十日（總領事館管內）
▲各小學校二學期始業式、午前八時、商業學校午前八時半
▲戰死者遺骨離京、午前十時半
▲各箇所對抗軟式庭球申込締切、正午迄、本社へ
▲本紙讀者優待里見義郎出演新京キネマ

◎今晩の主なる演藝放送◎

▲八・〇〇　軍歌獨唱と合唱（東京）內田榮一外大ぜい▲八・三〇琵琶（東京）▲九・〇〇講談「眞田の入城」（東京）神田松鯉

桑原修司に告ぐ

廣島縣安佐郡祇園村出身右の者兵役關係上至急現住所知らせ若し各位御存しの方は左記迄御電通願上候（一切の費用送金ず）

廣島市平塚町
父　桑原修一

拂下公告

一、品名　ハーレーダビットソン御車附自動自轉車
一、現品下見　場所於宮内府自動車庫　日時八月十九、二十日自午前九時至午後三時
一、入札日時　康德四年八月廿一日午前十時
一、入札場所　宮內府内務處需用科
一、入札保證金　百分ノ五以上
尙詳細は電三ノ六四一一八〇號に照會有度
宮內府內務處需用科

乳母を求む

産後五ケ月あり十ケ月迄の乳母を可とす

昭和十二年八月十二日
新京慈光路
新都病院內　櫻井

映画と演藝

滿洲映畫協會作成の事變映畫公開

創立準備中の滿洲映畫協會では最に優秀なるカメラマンを動亂の北支へ派遣したが、この程各部隊に從軍せる協會所屬のカメラマンが第一線將士と同じく砲彈飛雨の下をくゞり危險を冒して戰禍の北平天津および皇軍の奮戰狀況を苦心撮影せるフキルムが到着したので、直ちに第一輯日本語版二本、滿洲語版三本を作成左の日割をもつて全滿各地の活動常設館で公開することゝなつた、なほ引續き一週間おき位に第二輯、第三輯が公開される筈である

△大連 日本版 十日―十三日
△新京 日本版 十一日―十四日
滿洲版 右同
△奉天 日本版 十五日―十八日
滿洲版 十二日―十五日
△哈爾濱 日本版 十五日―十八日
滿洲版 十二日―十五日
△齊々哈爾 日本版 二十日―廿二日
滿洲版 十七日―十九日
△牡丹江 日本版 廿八日―廿九日
滿洲版 廿五日―廿六日
△錦縣 日本版 廿九日―三十日
滿洲版 廿六日―廿七日
△北票 滿洲版 廿九日―三十日
△圖們 日本版 三十日―卅一日
△承德 日本版 九月一日―二日
△延吉 日本版 一日―二日
△吉林 日本版 四日―六日
△撫順 滿洲版 十四日―十七日
日本版 十九日―二十日
△安東 日本版 廿二日―廿四日
滿洲版 十七日―十九日
△海拉爾 日本版 廿四日―廿五日
滿洲版 廿一日―廿二日
△綏化 滿洲版 十九日
△黑河 滿洲版 廿一日―廿二日
△營口 滿洲版 廿三日―廿四日
△鞍山 日本版 廿六日―廿七日
滿洲版 廿一日―廿二日
△開原 日本版 四日
△四平街 日本版 五日―六日
△旅順 日本版 八日

土屋主税 けふからの長春座

長春座十二日よりの番組は左の如く松竹一番線にRKO作品を配した三本に、同じくRKO「ルイズ、ブラドツク」を加へた編成である

▽松竹京都「土屋主税」犬塚稔の監督する松竹のお盆映畫、林長二郎二役主演の他に高田浩吉、嵐德三郎、北見禮子、白河富士子、光川京子、中村園枝、上山草人林敏夫、新入社中村正太郎等が出演、赤穗義士元祿快擧に絡む土屋主税の義侠と杉野十平次の活躍を描いた犬塚の歌舞伎情調篇

▽同大船「婚約三羽烏」島津保次郎の原作脚色監督になる作品で、大船の美男トリオ上原、佐野、佐分利が戀の槍騎兵となつて獨得の戰略を以つて決戰する美人攻防戰のスリル、三宅邦子高山三枝子、大塚君代、小牧和子、森川まさみ、葛城文子、岡村文子、飯田蝶子、齋藤達雄、水島亮太郎、小林十九二、河村黎吉、新入社氷川零子等新舊の賑やかな顏觸れが助演、キヤメラは松本正二郎の擔當

▽RKO「森の勇者」トムブランの主演する活劇映畫で森林を背景に盜伐者、惡漢を相手に活躍する青年の武勇傳、ヴアージニア・ワイドラー、キヤロルス・ストーン等が助演、ウイリアム・ハミルトン、エドワード・キリーの協同監督作品

Gメン大會 けふからの帝都キネマ

帝都キネマ十二日よりの番組は第四回Gメン映畫大會として左記三本立である

▽コロムビア「地に潛るギヤング」ギヤング團一味を相手に警官、新聞女記者などが一齊に協同戰線を張つて挑戰すると、ギヤング一味もこれに應じて暴行を恣にするが、Gメンの一人は單身ギヤング團に潛行して惡事の確證を握る―といつたお膳立て、ポール・ケリー、ロザリンド・キースの主演、C・C・コールマン・ジユニアの監督作品

▽ユナイト「恐怖の桑港」「バーバリーコースト」を改題したもので、エドワード・G・ロビンソン、ミリアム・ホプキンス、ジヨエル・マクリー主演、一八四九年カリフオルニア黃金狂時代を背景に暗黑街に描く愛慾の血醒い爭鬪を描く、脚本はベン・ヘクトとチヤールス・マツカーサーのもの、監督はハーワード・ホークスであるが、このシナリオ擔當者の顏觸れは相當なものだ、サミユエル・ゴールドウンプロの作品である

▽メトロ「仇敵」別項參照

仇敵

▽▽メトロ映畫、ロバート・ヤング、フローレンス・ライス、ジヨセフ・カレイア、これにルイズ・スストン、ナツト・ペンドルトン等を配しエドウイン・L・マリンの監督する作品、兄と恩人の命を奪ひ、戀人の父に無實の罪をきせた恐るべき魔手、表面は實業家として豪奢を誇る暗黑街の頭領を向ふに單身鬪ひを挑む快青年の活躍を綴る、手頃な作品として一應見世物的な興味を惹くであらう、帝都キネマ十二日封切

讀者優待券

「名畫スーヴニール」
日時 十一日から三日間
場所 新京キネマ

本券持參者に限り入場料五十錢のところを二十錢引（但大人一人一枚限り階下に限る）

新京日日新聞社

讀者優待券

「名畫スーヴニール」
日時 十一日から三日間
場所 新京キネマ

本券持參者に限り入場料五十錢のところを二十錢引（但大人一人一枚限り階下に限る）

新京日日新聞社

さぼてん

新興に現はれた葉子さん、若いお客に取り卷かれて「年は四十、子供の二、三人もあらうと言ふ、旦那に戀がして貝たいワ」と見榮を切つた、ホールの熟さは兎角女給さんの頭を無軌道にする▲トイツペイトの女給さん達と某客との談、たまく東京の私娼窟玉の井に移る「あんたなど、あそこでは小さな窓からヨーさんくと相當もてたもんでしよ」「僕は岡田つて言ふんだからヨーさんはちと當らんぢやないか」「まあこの人全く認識不足だワ、ヨーさんとはあそこでは洋服男の呼稱ぢやないの」流石猛者を自認するその客「負つた子に敎へられるとはこのことだ」と感嘆これ久しふしたことだつた

雜音

長春座、帝都キネマけふから寫眞替り、ともに獨得の色彩を生かしたプロ、賑やかなことである▼新京キネマの「名畫スーヴニール」は果然いゝ入りを見せる、流石に往年謳はれた佳作だけに「暗黑街」は今見ても左程に見劣りはしない、里見の名調と共に想出を偲ぶに十分なものがある▼豐劇の第二回名畫祭は十九日から廿七日まで九日間に亘り三回に分けて開催される、第一回がRKO「艦隊を追つて」フオツクス「キラバン」第二回東寶祭は「良人の貞操」大會」「東京ラプソデー」第三回はパラマウント「平原兒」「佛アリス」「はだかの女王」といつた編成である▼例によつて通しの割引券があり、再び淸新な企畫の躍動が觀取せられる

運勢

金曜 舊八
壬申 七月
友引 十
建 八三
鬼宿 日日

●一白の人　利害得失定まらざる日無理押しせざれば吉
●二黑の人　血氣に任せて轉落すべき日短慮急功を誡む
辰と申と酉が吉
●三碧の人　急がず焦らず初志に邁進せば終に功果あり
辛と壬と癸が吉
●四綠の人　進出を後期して物事の停滯を來たす移轉凶
申と壬と癸が吉
●五黃の人　利慾に心汚れて情誼を忘失するが如し注意
辰と申と癸が吉
●六白の人　大望を企て意外の失敗に歸するも相談事吉
乙と辛と亥が吉
●七赤の人　才力の足らざるを知らず事業負けをすべし
丁と辛と戌か吉
●八白の人　根氣を失はざれば後日の喜びを招くべき日
乙と申と亥が吉
●九紫の人　公私の別を明らかにし私情に溺れざれば吉
丙と辛と戌が吉
甲と巳と丁が吉

貿易緊急統制法 一ケ年延長決定

—從來通りに四商品に適用—

昨年八月日本の對濠通商擁護法發動に呼應して施行された滿洲國の貿易緊急統制法は既定方針通り來年八月十五日まで向ふ一ケ年間存續せしめることになり從前通り米・小麥小麥粉、羊毛の四商品のみを適用することに十一日の閣議で決定をみた、しかしてこれが存續に關聯して若干の輸入商品を追加すべしとの意見もあつたが、右については今後の經濟情勢の推移によりその都度隨時に決定する意向で、場合によつては貿易統制令を施行することになるかも知れないと見られる

奉天市公署 渾河大築堤建設

奉天市公署では毎年降雨期に六十萬市民に大きな不安を與へる渾河氾濫の脅威を根本的に除去すべく、滿洲國中央政府と協力、總工費百五十萬圓をもつて三ケ年計畫で大築堤の建設に着手することになり既に築堤豫定地たる東陵—渾河鐵橋間二十キロの測量に着手したが、本年中には測量を完了、來年解氷とゝもに築堤工事に着手、遲くとも康德六年八月頃までには竣工の豫定

滿洲國の產金增產 順調に進捗す

第一年度目標突破樂觀さる

上半期に六億三千萬圓と前年に倍する未曾有の輸入超過を示し、前後五回に亙る金現送によつて漸く爲替安定を得てゐる日本現下の情勢に於いて國際收支の適合が新內閣政經三原則の一として重大視され國內產金增產獎勵政策の强化が切實な問題として考慮されてゐる時、滿洲國に於ける採金增產計畫は至極順調な推移を示し、上半期既に前年比五割方の增產を示してゐる 即ち上半期產金量は百七十四萬四千グラム、產金額は五百十二萬圓に達し前年同期の百二十一萬一千グラム、三百四十萬四千圓に比べて五割强の大增產となり前年度の產金額の半ば以上に達してゐる、而して上半期の採金は解氷をまつて開始されるので六月末累計も實際の稼行期間は三箇月餘りに過ぎず、本格的增產は寧ろ下半期に於いて期待されるわけで、殊に下半期からは採金の機械化のトップを切るものとして採金會社の誇る採金船が本格的活動を始める筈で下半期に於ける增產率は一段と增大し五箇年計畫第一年度の目標一千五百萬圓突破は樂觀されてゐる

合作社對策で 奉商聯臨時會議

奉天商會聯合會では十一日午前十時から奉天市商會第一會議室に農事合作社對策臨時會議を開催、來賓として加藤憲兵隊長、加藤商議理事、曹實業廳長、升巴農務科長、その他方奉天市商會々長を始め省下各商會代表六十名出席、午前中は副會長問題につき協議し、初代副會長に營口商會副會長陳楚材氏を選任、次で加藤憲兵隊長の時局講演あり、午後は農事合作社問題に入り先づ總務廳長の合作社についての一般説明、次で升巴農務科長より政府の合作社設立方針につき説明あり、新民、法庫、鐵嶺各商會代表より合作社に對する意見開陳あつて午後四時散會した

朝鮮無煙炭會社 運炭私鐵建設

【京城支局】朝鮮無煙炭會社では去る三月東京に於ける重役會の結果勝湖里起點、价川新成川を經て德川に至る延長百三十粁の運炭私設鐵道を建設することに決定した、詳細は目下同社首腦部東上中のため判明せぬが建設には新に西鮮中央鐵道株式會社を創立する筈で資本金は一千萬圓となる模樣である、尙ほ同線は將來滿浦鎭線と結ぶ計畫でこれが實現後は平南道に於ける北部炭田と南部炭田の開發に資し西鮮に於ける產業開發に重要役割を果すものとして期待されてゐる

三萬の少年移民を 三年間に入植

滿拓の新移民計畫成る

滿拓では滿洲移民問題に一新生面を開拓するため今回總局ならびに拓務省等と協力、滿洲各地に少年移民團を入植すべく目下これが準備研究に忙殺されてゐるが、滿拓の企圖する右計畫は大體左の如きものである

內地各地の農村子弟中十六歲より十九歲までの少年をもつて靑年移民團を組織し現地において相當期間實地訓練を施した後全滿各移民地に入植せんとするもので本年秋第一回募集を行ひ昭和十四年までに約三萬の入植を完了する方針である

獨逸の滿洲大豆輸入 協定額に達せず

滿洲國の輸入額もなほ不足

滿獨通商協定成立以來兩國間の貿易關係は頗る順調に進捗しつゝあるがドイツの滿洲大豆輸入數量に關する特產中央會の調査によれば、一九三六年五月より一九三七年四月に至る一ケ年間に歐洲に到着せるものと想定される數量は別表の如く九七一、〇六八噸でそのうちドイツの輸入數量は四六三、四五一噸を占め、歐洲向の約四五%にあたる、而して滿獨協定による過去一ケ年間の倫敦市場における大豆相場の平均を九磅と想定するときはドイツは七、一五一萬圓の滿洲大豆を輸入したことゝなるが、協定による一億圓には尙約一、〇〇〇萬圓(九磅として四九萬餘噸)の差がある、他方滿洲國がドイツより輸入せる金額は約一、三一六萬圓であるが、これを協定によるドイツ輸入金額の四分の一より見るときは滿洲國はなほ約四四七萬圓の輸入不足となる右の諸數字を表示すれば次の如くである

△滿洲大豆の歐洲向輸出數量(單位噸)

月別	數量
一九三六年五月	[illegible]
六月	三五、二[illegible]九
七月	[illegible]
八月	三一、五一〇
九月	一六、一五三
十月	五九、一二九
十一月	一四四、六六九
十二月	二〇四、六〇七
一九三七年一月	一三一、四九〇
二月	九六、二八三
三月	五〇、一〇三
四月	八一、八〇六
合計	九七一、〇六八

次に三菱商事調査によるドイツ國大豆輸入高月別表を示せば左の如し(單位噸)

月別	輸入計	內滿洲物
一九三六年六月	八八、一〇三	八八、一〇三
七月	五七、一二七	五七、一二七
八月	三六、三七九	三六、三七九
九月	二四、六四三	二四、六四三
十月	一三、一三九	一一、八九九
十一月	七、九五四	九八六
十二月	一〇、〇三八	二三六
一九三七年	[illegible]	[illegible]

つぎに滿洲國のドイツ製品輸入數量は左の如し(單位國幣)

月別		
一九三六年六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一九三七年一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]
四月	[illegible]	[illegible]
五月	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

朝鮮の畜牛 市場出場減少

【京城支局】總督府農林局調査による本年七月中の各地方家畜市に於ける畜牛の出場頭數は一萬三千五百二十九頭であつてその內取引されたものは六千百九十九頭でその賣上額は五千八萬八千四百九圓であるが、これを前年同期に比較すると出場頭數で六千三百六十八頭賣買契約成立頭數で千五十九頭賣上額で二十八萬八千四百二十四圓を何れも減少した、原因は畜牛價昂騰と有畜農家增設の關係と見られてゐる

一旅行者の見た 獨逸の一般財政狀態

獨逸に於ける一般國民の生活狀態は決して諸外國に劣らない

普通家庭で働く下女の給料が邦貨に換算して月四十圓乃至九十圓、大學卒業生の初任給が月四百五十圓位である、しかし獨逸國內の生活費は遺憾ながら他國に比して高く、先づ日本の二、三倍當り稅金もかなりの高率であるが、それにしても收入額から見て一般獨逸人の生活は決して貧困でない、從つて獨逸國民は醵金が割合に樂に出來るし、又國家的施設のために醵金をする風潮が一般によく養はれて居り今回出來上つた南獨ミュンヘン市のハウス・デア・クンスト(藝術館)の如きは國民の總寄附が九百五十萬マルクの多額に上り建築費全部を賄つて八萬八千マルク殘つたといふことである

又ナチス黨諸團體の施設、宣傳等に莫大な金が掛つて獨逸政府はその切盛に苦心するだらうと眞面目にいふ向もあるが、これも甚しい誤解だ、ナチスの運動費は黨創立當時のプリンシプルに基いて他處から金を貰はずに各自の醵金をもつてやつて行くといふところにその原動力があるのだから、政府や他の財閥から金を引出す必要がないのみならず却つて剩余金を公益事業に向けるのである、例へばナチス最大の團體たるドイッチエ・アルバイツフロント(獨逸勞働戰線)の如きは三億マルクの金が毎年集るといはれるが實際はもつと澤山集るらしくこれで黨費を賄ふ外、國家的事業の多くをも賄つてゐる

獨逸の個人收支狀態は右の如くだが、國家の財政收支も惡くない、即ち大戰當時に背負つた巨額な借金も大體目鼻をつけてしまひ殆ど全部解消してゐるので、獨逸の國家財政には無關係になつた

又國際收支も貿易に於て康德元年度に二億八千萬マルクの入超となつたほかは二年度は出超一億一千萬マルク、三年度五億五千萬マルク、本年度上半期は既に一億九千二百萬マルクの貿易收入を得てゐる、かゝる良好な經濟狀態に導いたのは經濟相兼ライヒスバンク總裁ドクトル・シヤハトである、しかし獨逸の最も苦しいのは原料不足であるがヒットラーはこゝ四、五年の間に何とかする肚らしい

要するに獨逸の經濟狀態は永年の重壓から脫して漸く國力も昂まり、國民生活も豐になつて來たのは爭はれぬ事實で、加ふるに戰時に備へての自給自足の方策を完成すればその意氣軒昂たる國民精神運動と相俟つて正に鬼に金棒といふ所であらう

歷史上に見られる 暴利の取締り(二)

封建時代の實例

米の買占め

次は天保四年八、九月の頃の事で大阪に於る出來事であるが米價が殊の外高かつたがこれより先き利に敏い大阪米商人の主なるものは、極力これが買占めを行ひ、一面賣止めをして相場を無理に引上げ暴利を貪つて居た爲め、さなきだに高かつた米價は彌が上にも暴騰し、市民は殆んど食を斷たれたるかの如き有樣であつた、然るに此の暴騰の背後には斯樣な米商人の不正策動があるのであるとの評判が立つたので、これは捨て置き難いと云ふわけで、時の大阪町奉行矢部駿河守は、直ちに之れが買占團の巨頭とも見做される二十數名の米問屋の主人を呼び出し嚴重に吟味を遂げたが、其內の十數名は立派にこれが申開きをした爲め直ちに赦免されたが、殘りの七八名はどうしても申開きが出來なかつたので、直ちに莫大な罰金刑に處せられたのである、而して一方其の所藏米は悉く奉行所に於て沒收したのであつた、併しながらそれでは罰金まで納めて居るのであるから、余りに可哀相であると云ふので改めて、米商等が安い折に買入れた値段に、一割の手數料を添へてこれを彼等に下げ與へ丸損にはさせなかつた、然し夫れでも其の値段は當時の一般市價から見れば比較にならない安いものであつた

斯くとして奉行所に引取つた米は、大阪の裏町に住んで居る容易に米を手に入れる事が出來ない貧民に原價を以て賣渡す事にした爲め、之等の人々の歡ぶ事限りなく、矢部駿河守は一躍名奉行の名を擅にし、遂に江戶町奉行に榮轉する機運を作る事となつたのである

米商人の牢死

次は江戶の方であるが、同じく天保五年の六月から七月にかけては、米價が非常に暴騰し、百俵(三斗五升入)代百十七兩二分と云ふ、殆んど空前の大相場を現出し、一般市民は非常な苦しみをなめて居つたにも拘はらず、千住の米商人五人、江戶府內の商人七人等は謀し合せて、此不足の米を盛んに買占め相場を吊上げ、不當の暴利を貪らんと企てゝ居ると云ふ密告があつたので奉行所では直に一網打盡にこれを捕縛し、何等の取調べもなさず、これを悉く牢屋へぶち込んで終つたのである、而して斯くの如き米價の高い折柄、人の命を預る尊い米を個人の手に買占むるとは不屆至極であると云つて、相當虐待されたので、これ等商人は何等刑の定まらない內に殆んど牢中で悶死して終つたといふ事である、斯くして此の米は全部幕府に沒收されたので一般米商人も此の威嚇に縮み上り暴利を取らない樣になつたとの事である(未完)

商況欄(八月十二日前場)

海外經濟電報

品目	相場
倫敦金塊	六磅一九志六片〇〇
紐育金塊	三五弗〇〇〇
同銀塊	四四仙四分三
倫敦銀塊	一九片一六分一五
同先限	一九片一六分一五
孟買銀塊	五一留比一六分二
スチール株	一一八弗四分一
アナコンダ株	六一弗八分五

▲市俄古小麥

限月	相場
九月限	一弗一三仙四分一
十二月限	一弗一四仙二分一
一月限	一弗一六仙八分五

▲紐育棉花

限月	相場
現物	一〇仙七五
十月限	一〇仙三四
十二月限	一〇仙三一
一月限	一〇仙二七
三月限	一〇仙三二
五月限	一〇仙四〇
七月限	一〇仙四八

▲印棉

品目	相場
ブローチ	二九九留比
オームラ	一八七留比
ベンゴール	一四九留比

▲カルカッタ麻袋

品目	相場
青	二五留比〇〇〇
鐵筋	二二留比一六分九〇
英米爲替	四弗九六仙三五
日米爲替	二九弗〇八仙
米支爲替	二九弗六五仙
日英爲替	一志二片〇〇〇
英支爲替	一志二片三一分九
日印爲替	七七留比二分一

金銀市況

●上海標金 本寄 [illegible] 步 [illegible]

爲替相場

▲上海爲替 日本向 [illegible]
▲倫敦向 [illegible]
▲紐育向 [illegible]
▲阪神日米爲替 [illegible]
▲阪神日英爲替 [illegible]
▲滿洲中銀爲替 上海向 九八弗 天津向 九八弗 紐育向 二九弗八分一 倫敦向 一志二片

各地株式市況

▲東京株式(短期) [illegible]
▲大阪株式(短期) [illegible]
▲大連株式(短期) [illegible]
▲奉天株式(短期) [illegible]

各地商品市況

▲大阪綿糸 [illegible]
▲大阪棉花 [illegible]
▲大阪人絹 [illegible]

各地特產市況

▲新京(一石値段) [illegible]
●大連 大豆 [illegible] 高粱 [illegible] 大豆 [illegible]

▲豆油 [illegible]

新京日日新聞　朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓　一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三一〇五　營業局專用(3)三一〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

我が軍南口驛を占據
空陸からの猛撃に敵陣潰滅

【龍虎臺十二日發國通至急報】十二日午前九時半〇〇部隊は南口驛を占據した

【龍虎臺十二日發國通至急報】〇〇、〇〇兩部隊は南口驛占據に引續き當地西方一キロの山麓に蟠居する敵に對し猛烈な砲撃を開始した

【南口前線にて十二日國通特派員發】南口の天嶮に據つて頑强に抵抗した支那軍は、皇軍の空陸からの猛撃を支へ得ず算を亂して潰走したが、皇軍飛行隊は長驅して泥居庸關、德勝口に據らんとする支那軍に猛撃を加へ大損害を與へた

南口鎭も占據す
潰走兵は居庸關に據る

【南口十二日發國通】破竹の勢をもつて進撃を續けるわが〇〇部隊は十二日午前十一時遂に南口鎭を占據するに至つたが、敵は漸次部隊を後方山地に集結しつゝあり、同地は支那三嶮の一つをもつて鳴る居庸關を扼してをり、この戰線に據るときは相當頑强な抵抗を試みるものと見られる

中央軍算を亂して敗退

支那軍を包圍、猛攻開始

【天津十二日發國通】南口驛を占領せるわが軍は南口背後地の天嶮を利用して頑强に抵抗する敵を攻撃中にて、彼我の射ち出す銃砲聲は猛烈を極めてゐる、わが軍左翼部隊は迅速な行動を起し、早くも南口を圍む山岳深く入り込み支那軍包圍の體形を整へてゐるから十二日夕刻を期して猛攻を開始すべく南口一帶に據る支那軍の運命は刻々迫つてゐる

南口八十九師は蔣直系軍

【天津十二日發國通】南口附近の最前線にある中央軍は既報の如く第八十九師の二百六十五旅であるが、同部隊は師長王仲廉に率ゐられ、さきに江西より山西に轉じ、昨年の綏遠事件の際同地方に派遣された蔣介石直系中央軍の一部である

支那兵、良鄕襲來　我軍應戰擊退

【天津十二日發國通至急報】支那駐屯軍司令部午前十時發表＝十二日午前二時過ぎ裝甲列車及び追擊砲を有する五、六百の敵は良鄕を攻擊し來りたるをもつて、わが〇〇部隊は直ちに應戰午前五時半これを擊退せり、敵の遺棄死體百數十を發見せるも尙右の外多數の死傷者ある見込みなり、わが軍損害戰死二、負傷十九

【長辛店十二日發國通】十二日明け方良鄕における戰鬪で敵の死傷一千餘を算したが、わが方戰死福田軍曹ほか二名負傷者廿名を出した

南京上海間列車休止　軍事輸送のため

【上海十二日發國通】上海、南京間旅客列車は十二日朝以來軍事輸送のため往復とも殆ど運輸休止の狀態となつた、恐らく蘇州より中央軍を上海方面に大規模に輸送を開始したためと見られる、尙上海、杭州線も同樣の狀態に陷つた

上海、戰ひの寸前へ！

上海陸戰隊出動す

【上海十二日發國通】上海に暗雲低く垂れ十二日朝來民衆は極度に動搖し最早銃火の洗禮は免れぬところと觀念するに至り、全市は全く焦躁と騷擾の坩堝と化してゐる、支那人の引越車はますます盛んとなる一方で、共同租界と租界外とを繋ぐ通路はこれ等避難民と荷物で氾濫し交通は著しく阻害され、また北四川路方面にある邦商も一齊に虹口方面に避難密集しつゝある、更に共同租界にある邦人商社も多くは戰端開始の場合全社員を集合せしめ社內に籠城することゝし、食料の買込みから非常袋に重要書類をつめこむ等騷しい空氣は刻一刻と濃厚となつて行く

【上海十二日發國通至急報】十二日午後八時五分陸戰隊發表＝今夜陸戰隊の一部は租界內の警戒配備についた、これは租界近くに統制のとれない支那軍隊が近づいたゝめ租界內の秩序維持のためである

【上海十二日發國通至急報】租界警備につく日本陸戰隊は鐵兜を引しめつゝ勇躍出動

立退命令發せらる

【上海十二日發國通至急報】十二日午後七時北四川路、施高塔路、狄思威路一帶の日本人に對し、わが總領事館より「即時中部日本小學校に立退くべし」との通牒が發せられた

保安隊、塹壕構築

【上海十二日發國通】支那兵は十一日夜に至り西部租界附近まで進出し來り、吳淞方面では今月初めより支那保安隊が夜間日華紡工場附近（邦人經營）一帶に塹壕を構築し密かに交戰準備をなしてゐたが虹橋事件發生以來俄然晝夜兼行公然と塹壕、土嚢を構築しはじめたので、日華紡績の邦人十餘名は非常な不安に陷つてゐる、尙附近の農民は大部分引揚げてゐるが、殘餘の農民は强制的に狩りだされ土嚢運搬に從事せしめられてゐる

【上海十二日發國通】上海郊外中山路の大阪中山鐵工場では十二日拂曉同工場に搬入すべき鐵屑をクリークより陸揚げせんとしたところ、突如保安隊のため不法にも阻止せられまた附近の野村材木店より材木搬出中のトラック數臺も保安隊のために阻止された、會社側では直ちに總領事館に急報し目下總領事館員が現地にて保安隊と折衝中である、同工場支那人職工百五十名は附近保安隊の脅迫著しく十二日遂に苦力頭は就業不可能の申入れをなすに至つてゐる

上海の動搖著し
海軍省發表一般狀況

【東京國通】海軍省では上海方面の狀況に關し十二日午後四時副官談の形式をもつて左の如く發表した

□

上海方面の一般狀況は左の通りである

一、大山事件の勃發は一般に時局を最惡の場面に進展せしむるものと信ぜしむるに至り、殊に十一日一部兵力の移動をみるや、共同租界の西部を除く上海ならびに近郊在住の支那人は謠言に惑ひますます恐怖を昂め續々避難しつゝあり、日本人側の動搖もまた大にして租界居住のものは勿論、エキステンション區域よりフランス租界方面に避難するものを見るに至れり

一、北四川路方面は晝間の通行人及び人力車の數著しく減少し、わが駐在武官室屬傭の支那人は運轉手に至るまで全部逃げ去れり

一、事件發生後保安隊、偵察隊等の戰備は目にあまるものあり、エキステンション道路には土嚢を築き中山路、體育會路交叉點には公然と地雷火を埋めつゝある狀況なり

一、一般外字新聞は今回の事件については一見理非明白なるため正論を吐き保安隊に對する撤退等は當然なりと說き、寧ろわが海軍側の豫想外の冷靜なる態度を讃嘆しつゝある狀態なり、ただ漢字紙及び政府系のチャイナ・プレスのみは事實を歪曲し非は日本側にあるが如き記事を掲載してをれり

一、江灣附近の支那人經營工場、學校の大半は最近外人名義となし、米國々旗を揭げをりてこの點上海事變當時と同樣なり

北支事件公債　一億圓發行

【東京國通】大藏省發表＝北支事件公債の內國債引受團より一億圓引受けの申出あり、右は時節柄洵に結構なことであるから政府は同團の引受けにより左の條件をもつてこれを發行することに決定した

發行額　一億圓
利率　年三分五厘
期限　昭和廿三年十月一日迄（十一ヶ年二ヶ月）
發行價格　九十八圓五十錢
拂込期日及び金額　九月十四日—四十九圓　十月十五日—四十九圓五十錢
利廻り　復利三分六厘八毛

なほ引受團は引受手數料を取らぬことに決定した

日銀當局談

【東京國通】日本銀行當局談

今回の北支事件公債は當初一般に公募する豫定のところ國債引受團は時局の重大と北支事件費支辨といふ特別の目的とに鑑み率先してその全額を引受けることゝなつた、本公債の發行に當り國債引受團の熱誠なる協力を得たるは邦家のため洵に慶賀に堪へない次第である、なほ同公債は「リ號三分半國庫債券」と名稱し、拂込完了後一年半は市場に賣出さぬことをシ團で申合せた

南京政府、英國から飛機購入に暗躍
引渡問題で一頓挫

【ロンドン十一日發國通】日支關係緊張とともに國民政府は歐米各國の同情を求むべく在外使臣を督勵して活潑な宣傳工作に乘出したが、同時に各國から軍需品殊に飛行機の購入に必死の暗躍を續けてゐる、十一日ロイテル通信社の報道によれば、最近南京政府は英國の航空機製作業者に接近、軍用機廿臺の購入談をすゝめ英國政府の許可を得たが、引渡時期の問題について意見一致せず行き惱みの態になつてゐる、即ち國民政府としては至急引渡しを要求せるに對し英國當業者は目下英政府の再軍備計畫による註文大繁忙を極め到底支那側の希望する期間內には引渡し不可能なりといふのである、從つて支那が刻下の急に間に合はせるには中古物をかきあつめるほかないものと武器業者は見てゐる

汕頭居留民　高雄に引揚げ

【汕頭十二日發國通】汕頭在留邦人全部は山崎領事及び領事館員のみを殘留し十二日朝福建丸で同地を引揚げ臺灣高雄に向つた

停戰協定委員會　遂に無爲に終る

【上海十二日發國通】帝國總領事館は十二日午後六時卅分左の如く發表した

□

上海の情勢緊迫せるにつき岡本總領事は十二日午後四時より停戰協定委員會の招集を求め英、米、佛、伊關係國の文武委員出席、日本側より岡本總領事および陸戰隊竹田參謀、支那側より兪鴻鈞市長のみで各委員いづれも出席、まづ岡本總領事より十一日夕刻兪市長は岡本總領事に對し自發的に一部保安隊を撤退せしめ必要あらばさらに撤退を命ずる用意ある旨言明したにかゝはらず同夜より保安隊は頻りに租界および越界道路を包圍するが如き陣形をとつて進出し來り、廿二日はさらに正規兵までが上海に入市し來れるは明かに停戰協定違反なるのみならず上海の治安を脅威するものだとてこれにつき委員會でも必要な措置をとられたき旨話したに對し兪市長は

本件は日支間の交涉で解決すべきもので本委員會の關係すべき事項にあらず

と答へ、ついで外國委員より種々日本側の治安維持に對する熱意を支持する意思表示あり、尠くとも差當り北停車場より進出せる支那正規兵を撤退すべくサゼストしたるも、兪市長は

委員として如何なる要求ありとも受諾し得ず、よつて南京における外交々涉により解決を圖られたし

と述べたるにつき岡本總領事は

その努力は勿論なしてゐるが、差當り衝突の危機を防止することは刻下の急務だ

と嚴重兪市長の再考を求め、英米各國委員よりも同樣兪市長に再考を求めたるも兪市長は何らこれに應ずる態度を示さず、遂に

自分としてはいかんともなし難き狀態にあり、今や全く無力なり

と述べるに至り、よつて岡本總領事は日支を除く各關係國で何等かの方法もあらば考慮ありたき旨を述べたるも、これまた有效適切な措置の提案なく結局日支双方で相手が發砲するにあらざれば、自分の方も發砲せざることゝなすべき旨の諒解に達したるのみで散會の餘儀なきに至つた、かくて上海は重大な危險をはらんで不氣味な夜を迎へんとしつゝある

支那軍戰備を開始

【東京國通】海軍省は十二日午後九時副官談の形式で左の如く上海の一般情勢を發表した

その後における上海方面一般狀況は左の通りである

一、支那軍隊は續々上海附近に集中を開始、今曉吳淞附近より江灣にかけて戰備を開始し租界閘北の境界線各所道路上および附近家屋の窓に土嚢を築き機銃を備へ狀況極めて緊迫し一觸即發の姿勢にあり

二、豐田紡對岸蘇州河を距てたる野村伐材會社は十二日保安隊の妨害により作業を續くるを得ず、日本人社員等は辛うじて租界內に避難し來れり、郊外居住日本人の身邊は危險なり

三、駐在武官室、陸戰隊、總領事館その他日本人使用の市內電話は本日正午頃より殆ど不通となれり

四、上海市長は吳淞方面危險のため本日市政府に出勤する能はず、佛租界で執務中

上海義勇軍に動員令

【上海十二日發國通至急報】情勢逼迫に工部局、市參事會は午後八時つひに上海義勇軍全員に即時動員令を下した

獨流鎭西方で支那敗殘兵擊退

【天津十二日發國通】十日午後二時頃〇〇部隊の〇〇隊は津浦線獨流鎭の西方約一キロの地點において支那側がわが方の軍用列車運行を阻止する目的をもつて機關車一臺、客車二臺を脫線顚覆させてゐるのを發見、直ちに除去修理中突如六百名にのぼる大部隊の敗殘兵が襲擊し來つた、〇〇隊の篠原伍長は部下僅か十數名をもつて之に應戰、後方部隊と連絡し救援部隊の到着により敵を擊退、線路の復舊工事を完成したが、敵は執拗にも數回に亘つて逆襲を試み遂に十一日夜双方大激戰を演じ敵は屍體八を殘して潰走した、しかるに十二日朝に至り敵はまたまた附近線路を破壞するとゝもに兵力を同方面に集結しはじめた、わが方は斷乎これに鐵槌を下すものとみられてゐる

通州附近の敗殘兵掃蕩

【天津十二日發國通】通州のわが〇〇部隊は同地南方三河附近に蟠居せる敗殘兵を掃蕩したが北平駐屯の〇〇部隊も北平東北方の敵を掃蕩した

北平の文化施設保護に皇軍萬全期す

【天津十二日發國通】支那軍の北平撤退と共にわが軍は逸早く警察局をして故宮博物館各圖書館その他の文化施設の保護に萬全を期してゐる

人事往來

▲板谷幸吉氏（會社員）十二日來京ヤマトホテル
▲村田滿日社長　同
▲太田高三氏（會社員）同向陽ホテル
▲黑崎安夫氏（同）同
▲廣瀨穎司氏（材木商）同
▲池上遊龜萬氏（北滿ホテル經營者）同　都ホテル
▲日路義胤氏（ロイド社）同
▲尾崎重三氏（商業）同

個話

新京附屬地本年七月末現在の人口は內地人男一九、一七四、女一五、一五五、半島人男一、九一三、女一、一九八▼滿洲國人男二三、二三三、女五、二〇八、外國人男一六〇、女一二九、計男四三、三八〇、女二一、六九〇、總計六五、〇七〇▼これを昨年十二月末現在の六四、〇二五に比べると僅かに一、〇〇四の增加に過ぎない▼これは國都建設局管下の新市街方面が最近著しき發展をつゞけ同方面に移動したものと云へる▼滿鐵では夙にこのことあるを感知し邦人發詳の地たる附屬地の繁榮持續策として一昨年あたりから▼附屬地內商店街表通り商舖の改築を慫慂したが當時は餘り關心を持たざるのみか▼迷惑視するものさへあつた程だが今にして臍を嚙む者相當あるであらう

社説

日本の財政と增稅

一

昭和七年以來、日本の財政は公債に多くの財源を求めて來た。これは經濟界が不景氣で、國民の收入が減じて居り生產力には餘剩が存する場合には、政府の公債發行によつて消費を增加せしめる事が、この餘剩生產力を動員して生產活動を營ませ、經濟界の景氣を回復する妙法であつたのである。昭和七年以來の公債增發は必ずしもこのやうな目的を主眼として實行されたものではなかつたが、滿洲事變後の時局に餘儀なくされた財政の膨脹は偶然にも上述したやうな經濟的目的を達成するのにも役立つたのである。だから財政の膨脹、公債の增發は毫も國民經濟に支障を與へずに行はれ得た。

二

しかし今では事情は變化してゐるのである。生產力の過剩は一掃されてゐる。北支事變が起らなかつたとしても、膨脹を續けやうとする財政に應ずるためには、國際收支の逆潮をも忍んで、急速に生產力の擴張を圖らねばならぬ必要に迫られてゐたのである。事變によつて財政は更に膨脹必至となつてゐる。もとより年々の國民貯蓄の或る部分は公債に吸收し得るものであるしかし既に生產力に動員さるべき餘剩は存しないのであるから、國民貯蓄の年額もこの上多くの增加は望み得られない限度に來てゐるとすべきである。かかる狀態を見れば、もはや最近數年のやうに公債を發行する事は甚だ無理である。この上更に公債を多額に出すやうな事は、インフレーションの危險を冒すこととなるに違ひない。若しインフレーションを起したら、財政の上から言つて公債發行が無意味になる。やがては財政全體に、現に焦慮してゐる國防充實の上に、破綻を來すこととなるであらう。これは國民經濟の上に恐るべき結果を生ずるものとして警戒せねばならぬ。

三

殘されたもう一つの路は增稅に外ならぬ。そして事變費として、臨時的なものとしてすでに增稅の實行は決定されたのである。增稅はすでに此の前の議會に於いて一度實行を決定されたのであつた。それに加へての今次の增稅が此の度の特別議會で決定されたのである。今次の增稅は臨時的のものであるとはされてゐるが、財政政策の今後の方向を決定する上にそれは有力な興味を持つものとして注意さるべきであらう。いはば增稅は、北支事變による財政の膨脹に應ずるとともに、財政、經濟全般を救ふ手段でもある筈なのである。この增稅に耐へてわが國民經濟がよくそれに堪へる力を持つて居、そのため經濟活動に毫の沈滯もないであらうことを信じ得るのは幸ひである。

國際思潮（4）

增長慢の支那を戒しむ

コロンビヤ大學教授 極東評論家 ナサニエル・ペツフア

六

疑問とすべきは主としてかれらの判斷である、第一支那が絕體絕命、たとへ戰敗するとも戰爭に訴へるか、日本に屈從するか二つに一つの瀨戶際になつたとしたら、兩者の災厄中、まだしも戰爭の方が輕いであらう、もし端的に日本が、……支那は全く選擇の餘地を失ふであらう。その場合にはかれらはやけ糞で戰爭に訴へなければ萬事休すからである。

併しながら、支那は今日絕體絕命になつてはゐない。支那は選擇を强要されてゐない少くとも現在においては、日本は、北支にその計畫を强行してゐない。束縛は恐らく一時的なものである。日本に、穩健や寬裕や、フエヤー・プレイや、妥協心などを一層期待しうべきことは可能的なことと思ふし、又少くとも現在では日本は絕對に侵略などを考へてはゐないのである。

かうした現狀になるのに支那は何故選擇の强要を豫期せねばならないのか、自己の利益からすれば、支那の唯一の健全な進路は、己れに有利な平和的計算をなすべく自由な立場を保留することである。戰爭か否かは冷靜に成功のチヤンスを打算し、獲得すべきものに對して拂はねばならぬ犧牲を豫定して後に決定すべきことである。

要するに、支那は現在自己保衞のために戰ふ必要はない必要のない以上、戰爭勃發の危險を招くやうな行動は無意味である。支那に平和的な解決の機會があるとすれば好いんで妄動し選擇の自由を失ふ事は愚である。支那人今日の行動は、普通の考へ方では、正しきものとはいひ得ない。併しかうした盲信をもつほど理性を完全に失つた支那人ばかりではない。從つて、支那は今日己れを救ふために行動する必要なく、又、かくの如き行動を以て成功を確保できないとなればかゝる行動を强制するが如き方向に進んでならぬことはほんの常識であらう。換言すれば、支那が十分强くなつて、戰爭によらず若しくはもつと好い方法で日本と協定しうるに至る迄は冷靜を守ることが唯一ので合理的進路なのである。

勿論この場合には北支那は現狀を維持し、北支二省における……に委ねられるであらう、併しながら、この……日本の立場からして取立てゝ言ふほどの成功ではないこと、これは先づ指摘しておくことが出來るであらう。」

南京政府引揚命令『困つた〳〵』連發

在留支那人一樣に困却する　極度に歸國を嫌ふ

【東京發國通】在留支那人の引揚げ命令下るや十一日夕刻三千五百の在留支那人をもつ横濱南京街にはサツと困惑と不安の色が漂ふた、中華民國總領事館や國民黨支部にはひつきりなしに電話で「引揚げ命令は本當でせうか、何とか引揚げずに濟まないでせうか」といふ問合せが殺到、其處此處の町角には三人、四人顏を集めて「困つた、困つた」の連發だ、日本に居れば絕對安全だといふ今までの安全感から誰も彼も引揚げを極度に嫌つてゐる、殊に一流支那料理店の經營者達は異口同音に引揚げは困る、日本に居れば安心して商賣が出來る、本國へ引揚げたら如何なるかわからない、私達はもう日本人になつた心算でゐるのにと却つて悲しげな面持だ

不必要と頑張る

鍾支那橫濱總領事語る

【橫濱發國通】日本在留の支那人に對し南京政府が引揚命令を發することに決定したとの報道に對し、橫濱駐在の支那總領事鍾龢麟氏は「困つたものです」と憂色を面に浮べながら語る

引揚命令の公電が未だないが、本國の命令に從ふ外ないが、居留民が日本にゐたとて何ら不安がないので歸る必要がないと頑張つてゐるのは事實です、滿洲事變當時は半分ほど歸國したが、今度は數名しか歸つてゐない勿論學生は夏休みだから大部分歸つた、なほ淺草にある支那人コツク組合では語る

通州における日本人虐殺事件で一時はどうなるかと心配したが、日本人は流石に大國民の態度で吾々には何等の惡い感じを持つてゐないので大いに感激もし安心もしました警視廳等もよく保護してくれるので商賣を捨てゝまで歸國しようとは思ひません、それにしても母國における排日、壓迫で支那から引揚げる日本人には氣の毒で、その氣持はよくわかります母國を離れて初めて排日で國土、國力を失ひ與斧人同志が爭ふことの馬鹿らしさを知りました

南口戰鬪に付　首相、陸相協議

【東京發國通】杉山陸相は十二日午前十時私邸に近衞首相を訪問、十二日南口方面に行はれた支那中央軍との衝突につき長時間に亘り重要協議を遂げた

市公署新廳舍　建設當分保留

新京特別市公署ではかねてより大同廣場附近に新廳舍を建設すべく準備中であつたが、行政權移讓を目捷に控への健全財政確立、緊急財政方針の立場から新廳舍建設問題も當分保留と決定、適當の廳舍を借り受け移轉する事となつた

東洋大會　東洋諸國參加希望

坂本氏報告

明年大阪に開催の第一回東洋大會參加勸誘のため、去る六月中旬體協から比島をはじめ東洋諸國に派遣された東洋大會大阪總務委員會副委員長坂本信一氏は前後二ケ月の獻身的勸誘を終へて去る七日神戶に歸着したので、體協では同氏の報告を聞く爲上京を求めて十二日夜滿鐵ビル內事務局で東洋委員會を開催、先づ坂本代表より比島が第一回東洋大會に大デレゲーションを送ることを決定した旨を報告、更にシヤム、印度、支那を勸誘の結果、東洋諸國が遠征を希望してゐる旨を報告、よつて大阪總務委員會としては益々その準備を進めるとともに比島參加の正式決定をまつて招待狀を發送する事となつた

ソ聯笛吹けど米國踊らず

ソ聯政界の動向につき　ハヴアス通信觀測

【モスクワ十二日發國通】北支事變勃發以來ソヴイエト政府は固く沈默を守つてゐたが十二日ハヴアス通信社モスクワ支局は最近ソヴイエト政界の動向につき次の如き極めて興味ある觀測を下してゐる

最近のソヴイエト外交は著しく親米的となつて來た、北支事變突發するや極東に於て事實上日本を牽制し得る國は米國のみといふ立場から米國內の反日輿論喚起に全力をあげて來たが米國がその手にのつて踊らないのに期待はずれの感を持つてゐる、ソヴイエト政府は最近スペイン及び極東問題について英佛兩國の態度に失望し、更に最近多少强くなつたのではないかと期待して居つた支那軍が到る所で慘敗を重ね北平が餘りにも呆氣なく日本軍の手に落ちたので支那民衆の抵抗を期待したことゝてガツカリした樣子で、ソ聯各紙の如きも內心日本軍の强力に感嘆しつゝ北平陷落は支那軍內部の叛亂によつたものだなどゝ負け惜しみをいつてゐる

孔氏の奔走無爲

爲替資金枯渴を暴露

【東京發國通】南京政府財政部長孔祥熙氏は英獨佛等を歷訪、借款交涉に狂奔しつゝ支那一流の宣傳により借款が續々成立しつゝあると豪語してゐるが實狀は全く右に反し孔氏の狂奔にも拘らず、借款は意の如くならず成立を噂されたものとても實現までには相當の困難を伴ふことが明かで同氏の奔走によつて暴露された支那の爲替資金枯渴が豫想以上に深刻であることを證明する逆效果を與へつゝある

すなはち英國において成立した廣梅鐵道借款三百萬磅、浦口、襄陽鐵道借款四百萬磅、合計七百萬磅はアングロ、チヤイニーズ、コンパニイとの間に萬般の契約なつたが日支の事態急迫のため公募は全く無期延期となり同契約は二ケ年間有效と諒解が成立したのみで、實質的には何等の役に立たず、對佛借款交涉も四億フラン（約五千二百萬圓）の契約成立を傳へられてゐるが、確實なるところへの入電によれば二億フラン（約二千六百萬圓）の借款で、しかも幣制改革維持のための資金ではなく建築材料買込みのためのクレジツト）の模樣で當面の爲替資金缺乏を補塡する材料とはならず孔祥熙氏歐洲における借款交涉は全く豫期に反した形である

次官皇軍慰問　十二日天津へ

【東京國通】陸軍政務次官加藤久米四郞氏は北支に活躍しつゝある皇軍將士慰問のため中川中佐とゝもに十二日朝羽田飛行場發天津へ向つた、北支地方に一週間滯在第一線に活躍の將士及び傷病兵を慰問し、さらに新京に赴き滿ソ國境を視察、九月上旬歸京の豫定である

危ふく難を免る

駱通州特派員公署屬官　當時の模樣を語る

滿洲國通州特派員公署屬官駱樹人氏は田場、藤澤兩氏が殉職した際同公署に居合せたが、巧みに叛亂隊の銃をくゞつて北平に避難、外務局から急行した影山屬官とゝもに同公署の後始末をした上十二日午前八時五十三分着列車で遭難兩氏の遺骨を携へて歸京した、當時の模樣について駱氏は語る

二十九日 午前四時半頃でしたバリバリと扉を打ち破る音と一緒にバンバンと續けざまに一齊射擊をやられ部屋の壁に五六發彈丸があたりました、起きようとすると十數名の保安隊員がドツと亂入して來て銃を擬しながら「お前は朝鮮人か」といふので「中國人だ」と答へると日本人は何處に居るかと叫びながら私の答へもまたず監視の一人を殘して他は奧へ侵入して行きました「田場、藤澤の**二人と**もやられるなと思つたのですが、突嗟にどうすることも出來ません、とたんに銃聲が聞えちよつと擊ち合つたかと思ふとすぐ靜かになりました、その時二人ともやられたんです引返して來た保安隊員は私を何處までも朝鮮人だと思ひ違ひをしてゐて本部まで拉致して行き色々取調べましたが、私の言葉で中國人であることを證明して漸く釋放されました、役所に歸つて來ると

保安隊が追つかけるやうにしてまた這入つて來て金庫の鍵を渡せといひ「外に日本人はゐないか、家族の者が、何處かに隱れてゐるだらう」と家搜しを始めました、その時藤澤氏はまだ蟲の息でゐて保安隊が來てゐるとも知らず苦しい聲で「駱君、駱君」と呼びたてますので保安隊員がそれに氣付いて「まだ生きてゐるぞ」と藤澤さんの部屋に私を連れて行き「鍵の在所を言へ」と藤澤さんの體を**やたら**に蹴つとばしました、私はとてもみてゐられず遂に觀念して金庫の鍵を渡して「この人の命だけは助けて下さい」と賴みました、金庫の中には現金六七百圓と暗號電報帳などが入つてゐたのでしたが、保安隊員は電報帳には氣づかず現金を分配し合ひ、この外自轉車、タイプライター電話、煙草等を持ち去りました、廿九日の正午頃ですほつとして田場、藤澤兩氏の許にかけつけてみると二人共身に十數彈をうけて

その時はもうこと切れてゐました私は早速電報帳その他の重要書類を破り捨てた上逃げ出さうとしたのですが、砲聲や銃聲が旺んに聞えて危くて外に出られません、夜になつてから漸く役所をとび出し線路沿ひに北平に向ひ卅日の朝雨にずぶ濡れになりながら北平の東邊門までたどりつきました、城門はもう閉されてゐて入れません、門の外には二千人位の避難民が集つてゐて開門をせまつてゐましたがなかなか

開けてくれず午後六時頃やつと城內に入ることが出來ました、兩氏の遭難を一刻も早く外務局へ報ぜねばならぬと焦慮したのですが、たゞ一人の知人である飯村冀察顧問とたかなか連絡がとれず、二日の朝やつと飯村さんにお會ひすることが出來て日本領事館の安藤書記官の手で外務局へ第一報を送つた始末でした

原動機取締規則

治安部令第九十號にて發令

發令規則の內容（其五）

（治安部令第九十號）

汽罐の設置に構造上の要件に關する件

原動機取締規則第五條の規定に依る汽罐の設置並に構造上の要件を左の通定む

第一章　汽罐（移動式汽罐を除く）の設置場所及据付位置

第一條　汽罐は專用の建物又は適當に區劃せる場所に之を設置すべし但し已むを得ざる場合は此の限に在らず

第二條　汽罐の据付位置は左の各號に依るべし

一、汽罐の外側と天井又は屋根裏との間には百二十糎以上の距離を保有せしむること、但し安全瓣其の他の裝置の檢查及取扱に支障なきときは此の限に在らず

二、罐體を露出せる汽罐又は竪型汽罐に在りては前號の外其の外側と壁體との間に四十五糎以上の距離を保有せしむること但し罐胴の內徑五百粍以下にして長さ千粍以下のものに在りては三十糎迄短縮することを妨げず

第二章　防火施設及避難設備

第三條　露出せる汽罐の外側又は金屬性煙突若は煙筒より十二糎以內に在る可燃性材料は金屬以外の不燃性材料を以て適當に被覆すべし

第四條　汽罐室又は汽罐設置場所に燃料を貯藏する場合には汽罐外側より百二十糎以上の距離を保有せしむべし但し防火の爲適當なる障壁を設くる場合は此の限に在らず

第五條　汽罐室には二以上の出入口を設くべし但し非常の際避難するに支障なしと認むるときは此限に在らず

第三章　罐板の厚さ

第六條　汽罐に使用する鋼板の厚さは六粍以上たることを要す但し蒸罐に在りては厚さ四粍以上の無繼目鋼管を使用することを妨げず

支柱を有する板、管板又は鍔を有する焰爐管板若は火室板の厚さは前項の規定に拘らず八粍以上たることを要す

第七條　罐胴又は鍔を有する汽筒の鋼板の厚さは左の各號の條件を具備することを要す

一、制限壓力二、五瓩平方糎を超ゆる汽罐にして罐胴又は汽筒の內徑六百粍以上のときは板の厚さは八粍以上、內徑六百粍以下のときは六粍以上たること

二、制限壓力二、五瓩平方糎以下の汽罐にして罐胴又は汽筒の內徑九百粍を超ゆるときは板の厚さは八粍以上內徑九百粍以下のときは六百粍以上たること

第八條　鑄鐵製汽罐又は鑄鐵製溫水罐の罐體を構成する鐵の厚さは八粍以上たることを要す

第九條　鏡板又は冠板に使用する鋼胴板、汽胴板又は火室板の厚さより小と爲すことを得ず

第四章　罐胴又は汽筒の縱接手

第十條　罐胴又は汽筒の縱接手は左の各號の條件を具備することを要す

一、片覆板鋲接と爲さざること

二、罐胴又は汽筒の內徑千ミリを超え制限壓力八、五瓩平方糎以上に於て使用するものに在りては累接と爲さざること

三、罐胴又は汽筒の內徑五百粍を超え制限壓力五瓩平方糎以上に於て使用するものに在りては一列鋲累接と爲さざること

四、橫置多管式汽罐の罐胴に在りては火焰に直接觸るることなき位置に配置すること

第五章　人孔、檢查孔、掃除孔

第十一條　汽罐（鑄鐵製汽罐、鑄鐵製溫水罐及蒸罐を除く）には罐胴又は鏡板の適當なる箇所に人孔を設くべし但し罐胴の內徑六百五十粍未滿、長さ千粍未滿にして掃除若は檢查の爲罐內に潛入し得ざるもの又は罐胴の內徑千粍未滿の竪型汽罐に在りては二以上の檢查孔を以て之に代ふるとを得

人孔の大さは長徑三百七十五粍以上、短徑二百七十五粍以上の楕圓形又は內徑三百七十五粍以上の圓形たることを要す

檢查孔又は掃除孔の大さは內徑二十五粍未滿たることを得ず

第十二條　橫置多管式汽罐に在りては前條に規定する人孔の外前管板の煙管集の下部に人孔を設くべし但し罐胴の內徑千二百粍未滿にして人孔を設け難きもの又は管板の堅中央部の管列間に若は外方管列と罐胴との間に二百三十粍以上の間隙あるものに付ては適當なる大さを有する掃除孔を以て之に代ふることを得

第十三條　竪型汽罐の罐胴には水脚部に二以上の掃除孔を設くべし

第十四條　竪型多管式汽罐の罐胴には火室頂板の高さと同一の高さの位置に二以上の檢查孔を設くべし

第十五條　水管を有する竪型汽罐の罐胴には水管を掃除し得る位置に適當數の掃除孔を設くべし

第十六條　「コルニツシユ」型汽罐の前鏡板の下部には掃除孔を設くべし

第十七條　罐胴、鏡板及管板に設くる人孔、掃除孔又は檢查孔は相當の强力を有する鐶環又は突環にて補强すべし但し掃除孔又は檢查孔の長徑百五十粍未滿のものは此の限に在らず

第六章　鏡板、焰管の取付

第十八條　支柱に依り補强せられざる鏡板は左の各號の條件を具備することを要す

一　取付鍔の曲內半徑は鏡板の厚さの四倍以上と爲すこと

二　取付鍔の彎曲起部と胴板端との間は六粍以上と爲すこと

第十九條　竪型汽罐の冠板と火室頂板とを連結する焰管の內徑は罐胴內徑の六分の一以上たることを要す

第七章　管寄の材料

第二十條　管寄の材料には軟鋼又は鍊鋼を使用することを要す但し工作に缺陷なき限り材質良好なる鑄鋼を使用することを妨げず

第八章　安全瓣

第二十一條　汽罐には二以上（溫水罐又は蒸罐に在りては一以上）の安全瓣を設くべし但し爐格面積〇、六平方米又は傳熱面積十二平方米以下のものに在りては之を一と爲すことを得

鑄鐵製汽罐に在りては制限壓力より〇、三瓩平方糎以上壓力を上昇せしめざる安全裝置を、溫水罐に在りては制限壓力を超ゆる場合直ちに逸水する安全裝置を以て前項の安全瓣に代ふることを得

商況欄

株式相場（八月十三日）後場

銘柄	寄	引
●大連株式（短期）		
五品	一五、三〇	—
豆新	一八、三〇	—
東新	一三六、〇〇	—
滿鐵	[illegible]	—
同新	[illegible]	—
日產	[illegible]	—
鐘新	[illegible]	—
●奉天株式（短期）		
滿取	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	—
豆新	[illegible]	—
滿鐵	[illegible]	—
同新	[illegible]	—
電氣	[illegible]	—
滿毛	[illegible]	—
日畜	[illegible]	—

手形交換高（十三日）

枚數 [illegible]　金額 [illegible]

鮮魚小賣相場（八月十三日）

釜山、淸津、安東物入荷なし

品名	最高	最低
活鯛	一八〇	九六
[illegible]	六〇	四〇
[illegible]	四三	三〇
[illegible]	五三	三五
[illegible]	四三	一五
[illegible]	二一	
[illegible]	三四	
[illegible]	六五	

けふの天氣　南西の風晴時々曇り

日の出　前五時三九分
日の入　後七時三六分
月の出　後〇時四一分
月の入　後十一時五〇分
きのふの氣溫　最高三一度　最低二二度六

總局、客貨運送規定の 改正統一を圖る

明年一月から新規定實施

總局では鐵道一元化に伴ひ從來區々に行はれて來た客、貨運送規定の合理的改正統一を圖るべく各機關關係と密接なる連絡をとり種々研究を重ねて來たが、この程大體の成案を見るに至つたので近く當局の認可を得た上、來る十月一日正式發表、明年一月一日より實施する事となつた、今次改正の要旨は從來社、國、北鮮線及び以上各線間直通の四規定に分れてゐたものを廢合統一し新たに南滿洲鐵道株式會社鐵道運送規定並に同取扱規則を設けんとするもので現行規定を骨子とし

一、關東州、滿洲國、朝鮮の地方的法令の調和

二、內鮮滿連絡運送實施に備へ關係運輸機關との協調

三、總局業務運用上の根本方針たる現地中心主義をモツトーに最も妥當なる改正を加へる

なほ客貨運賃の改正についても目下種々研究を進め早急實施を期してゐるが、四圍の情勢より見て本年中は實施困難と見られてゐる

火葬を奬勵

【京城支局】總督府では傳染病其の他各種病死屍體處理に際し土葬は非常に危險でありまた風致を害するものあるに鑑み國民保健施設の一端として極力火葬による屍體處理を奬勵することとなり目下警務局衛生課で調査研究中であるが現在火葬場を有し處理してゐるものは殆んど都會地のみに限られ邑面地方は大部分が土葬處理のみであり即ち火葬場設置總數は百六ヶ所百八十八爐で昨十一年中の火葬取扱數は死者四十三萬四千四十八名に對し僅か二萬三千八百八十二名であつた、然し右は今後當局の指導奬勵により漸次火葬を增加するものと見られてゐる

池冀東長官就任式

冀東政府長官に就任した池宗墨氏は十日午後十時唐山に於て就任式を擧行した【寫眞は分列式を受ける池長官】

哈爾濱一般物價に 事變の影響みられず

事變發生前後比

北支事變の勃發とゝもに買惜みその他の思惑による物價の不當なる暴騰が憂慮されてゐたが、物價抑制政策よろしきを得たると當業者の自制により哈爾濱一般物價は保合の狀態で、事變の直接的影響は見られない、哈爾濱軍要商品の七月下旬、八月上旬平均物價を事變發生前に比すれば左の通りである

△大豆　單位
事變發生前　五圓六五錢（一〇〇斤）
七月下旬　一〇二%一
八月上旬　九八%六

△白米
事變發生前　二圓六八（一布度）
七月下旬　一一〇%四
八月上旬　一〇六%九

△麥粉（三鶏）
事變發生前　四圓一〇（二二瓩、一袋）
七月下旬　一〇七%三
八月上旬　一〇七%三

△麥粉（三羊）
事變發生前　四圓一五（二二瓩、一袋）
七月下旬　一〇六%
八月上旬　一〇四%八

△砂糖（J）
事變發生前　二三圓四〇（一三五斤、一俵）
七月下旬　一〇二%八
八月上旬　一〇一%七

△砂糖（YP）
事變發生前　二三圓五〇（一三五斤、一俵）
七月下旬　一〇三%一
八月上旬　一〇二%一

△木材（原木）
事變發生前　一圓一〇（民メ）
七月下旬　一〇〇%
八月上旬　九八%九

△木材（挽材）
事變發生前　一圓四〇（尺メ）
七月下旬　一〇〇%
八月上旬　一〇〇%

△セメント（哈爾濱）
事變發生前　一圓七〇（五〇瓩、一袋）
七月下旬　一〇〇%
八月上旬　一〇〇%

△石炭（西安）
事變發生前　一五圓〇五（一噸）
七月下旬　一〇〇%
八月上旬　一〇〇%

△粗布（遼塔）
事變發生前　九圓二五（一匹）
七月下旬　九七%一
八月上旬　九六%三

△細布（人面）
事變發生前　一〇圓五五（一匹）
七月下旬　九八%四
八月上旬　九四%九

△大尺布（青天童子）
事變發生前　三圓二〇（一匹）
七月下旬　九九%三
八月上旬　九五%

△麻袋（鐵筋）
事變發生前　〇圓四四八（一枚）
七月下旬　一〇二%
八月上旬　一〇〇%

△豆粕
事變發生前　一圓七三三（一枚四六斤玉）
七月下旬　一〇三%二
八月上旬　一

△平均
事變發生前　一〇〇
七月下旬　一〇二%
八月上旬　一〇〇%六

恤兵獻金に

國防婦女會哈爾濱支部の目覺ましい活躍

國防婦女會哈爾濱支部は創設以來銃後の護りに任じ目覺しき活躍を續けつゝあるが、北支事變勃發するやひろく滿系市民に呼びかけ皇軍恤兵獻金募集を開始し既に第一回慰問袋を支那駐屯軍司令部宛發送し、續いて一兩日中に第二回分として二三千個の慰問袋を送るべく目下協和會濱江省本部會議室に施支部長以下會員有志詰めかけ準備に忙殺されてゐる、尚支部の擴充計畫をはかるため管下十ヶ所の分會を新設する計畫をたて、來る廿日まづ呼蘭稅關、稅務監督署の分會發會式を盛大に擧行することゝなつた

突擊實に百數十回

肉彈を以て清河鎭を突破 壯烈!! 鈴木部隊の遭遇戰

【〇〇十一日國通特派員發】去る七月二十八日から二十九日にわたり鈴木部隊は清河鎭における劉汝明麾下の二個團との間に壯烈なる遭遇戰を行つたが、この戰鬪は當時南苑方面の戰鬪のかげに隱されて今日まで案外世間に傳へられなかつたが、十日同部隊が〇〇に入ると共にその壯烈な戰鬪狀況が判明した、七月二十八日午後二時半清河鎭に達した鈴木部隊先頭部隊は、生ひ茂る高粱の蔭から突如支那軍の猛烈な迫擊砲、機關銃の彈雨を浴びたので、わが砲兵部隊は直ちに敵陣に痛擊を加へたが、敵は小高い丘に堅固な塹壕を築いてをり却々一擧に敵陣を粉碎することは困難であつた

◇……

わが軍はこの間丘陵の敵に向つて突擊又突擊敵前五十米位までやつと肉薄したかと思ふと瞬く間に敵機關銃火になぎ伏せられて了ひ、あくまで地の利を占めた敵のため意外の苦戰に陷つた

かくて廿八日は戰場に明け、越えて廿九日拂曉午前二時わが軍は實に百數十回目の全軍を擧げての大突擊を敢行し、壯烈無比の肉彈戰を展開した

かくて激戰數刻、曉近き頃敵は殲滅的打擊を受け死體六百を戰場に遺棄して潰走、清河鎭の兵營には高く日章旗が翻つたのである、この戰鬪におけるわが軍の損害も相當あつたが、支那軍の死傷は實に二千五百名の多きに上る激戰であつた

灌漑用風車で 農作物を增產

大河內博士來京談

十一日あじあで來京した大陸科學院顧問大河內正敏博士はかねて同科學院より灌漑用風車の研究ならびに設計につき依賴をされてゐたが、最近風車の模型二臺が完成したので十二日午前十時同科學院に持參し、學術的方面より灌漑用風車の說明を行つたが、大河內博士は同科學院において左の如く語つた

新京には五日位の豫定ですが、その間にこの風車を採用するか決定する筈です、現在までの滿洲の風車は學術的な缺點のためその能力を發揮出來なかつたが今度の風車は滿洲の風土の合ふやうに設計しました、今後この灌漑用風車により滿洲農產物が何割でも增產すれば大きなものです、理想は五割增產にあるのですが必ず相當の效果あるものと確信します

阿片魔藥斷禁に關する 總理大臣佈告

滿洲國では愈よ阿片麻藥の斷禁に向つて積極的政策を進めることとなり、十二日これに關する總理大臣佈告並びに當局談を發表した

阿片の吸飲麻藥の使用は其の家を亡し終ひに其の國を危うす殊に阿片麻藥の在る所必ず盜匪不正の徒を伴ひ平和明朗期待す可からず、乃ち我國建國の初より之が吸飲使用根絕の方針に基ぎ法規を定め制度を整へ施設を起して其の成果看る可きものあり、然れども既往の實績に徵し此の陋習の久しく病弊の深き所期達成には更に斷禁の政策を大いに强化徹底するの要あるを認む、殊に現下四圍の狀勢は擧國一致して內を整へ外に備ふるの要急なるものあり、盟邦帝國亦我國の健全なる發達を祈念し進んで治外法權の撤廢を行ひ又本政策の斷行に絕大の協力を與へんとす、政府茲に於て阿片麻藥の急進斷禁を決意し大いに施設を擴充し新に法規を嚴重にし萬難を排して速急弊風の一掃を圖らんとす、身を公に奉ずる者自肅範を衆に垂るべきは固より庶民隣保相戒めて必ず過を犯すこと勿れ、盜匪不正の肅正に付ては盟邦官憲の協力を得て遺憾無からしむべし、茲に政府の意を闡明して嚴に國民の自省自戒と更始一新を促す

右布告す

當局談

阿片麻藥根絕の根本方針は建國草創の際既に決定せられ政府は之に從ひ制度施設を致へ倦まざる努力を續けて來たのであるが其の結果舊政權時代の暗黑紊亂を極めた阿片社會が漸次刷新肅正せられ建國五年の今日に於て禁煙拒毒の基礎工作を略々完了したと言ひ得るであらう、此の基礎の上に立ち過去の經驗と內外現下の情勢とに鑑み速急に斷禁の徹底を期し一日も早く健全明朗なる社會の建設に邁進せんとする今後の政府の決意と態度とを明示したものが今回發せられた佈告である、其の具體策は民生振興會議特別分科會の立案に係るものを基礎として政府に於て目下審議中に屬するが近く要綱の決定を見發表の運びに至ると思ふ、阿片麻藥の斷禁は他の同患國が幾多の努力と年月とを拂つて尚且つ其の實效を擧げ得ないでゐる事實に徵し見るも甚だ難事であることは申す迄も無く、本對策の效果を全からしむるには官民共に餘程の決心と覺悟とを要する、就中國民の自省自戒は其の必須の條件であつて之を努めずしては如何なる立法行政の手段をも殆ど意味を爲さないと信ずる、政府は協和會を始め朝野各機關と相協力し民衆指導の萬全を期すると共に政府自らも充分の覺悟と愼重の用意を以て目的達成に全力を盡す決心である、此の際國民各位に對しても切に自覺を促して已まない次第である、尚本政策に對應し日本側各機關が最も適切なる措置を講ぜらるる厚意に對しては感謝に堪へない處である

恤兵獻金 關東軍扱ひ

五十圓新京西廣場小學校同窓會、二圓七錢順天小學校吉田昭子、岡本優子、百八圓三機工業煖房工事作業所一同、三十圓新京大作新八、十四圓新京大業政子、同淸子、二圓五十五錢新京大山富美江、同顯五百五十三圓三十五錢濱江省五常伐採造材組合從業員一同六十七圓十六錢法庫縣公署一同、二百七十一圓九十四錢城裡各機關一同、百二十四圓四十錢商務會一同、二百六十圓各村公署一同、二圓五十四錢鐵嶺小學校南部良、稲本武、佐藤利勝、伊相勳、板橋昭雄、中川和彥、三十圓新京三宅フクヱ、百六十五圓十三錢新京八島小學校六年生富樫攀外四名、百二十圓四十五錢吉林省磐石在鄉軍人分會員一同、五十圓磐石國防婦人會分會員一同、百圓國際吉林支店長原田辰雄、社員一同、二圓吉林森野光枝、三十圓吉林市醫師會會長孫宗堯、外會員一同五圓永吉縣長尾道守、五圓吉林市基督教青年會幹事長李惠臣、百二十一圓六十錢磐石縣城內朝鮮人民會同民會有志七十五名、五十五圓樺甸縣城內朝鮮居留民金尙河、以下有志四十名、三圓新京山口杉雄、十五圓奉天大和ホテル理髮部員、卅圓滿洲帝國協和會輝南縣本部五圓十一錢八島小學校高城保飯田徹、三十二圓十錢新京朝鮮耶蘇教長老會新京布教所、十一圓六四錢櫻木小學校石田昭、五十圓康德會館內東京電氣株式會社新京出張所員一同十圓樺甸縣紀會同、四百三十七圓福昌公司新京支店一同、五百圓滿洲國博濟慈善總會、▲合計二千二百六十四圓三十九錢、慰問袋一個、千八針、二枚新京安達街五一〇藤本ヘルエ

家庭

奥樣の季節講座

忙しい夏の家庭

白服は科學的洗濯で經濟的に

このごろのやうな暑氣續きには發汗がさかんで被服のよごれもひどい。白地の洋服等一日でよごれてしまひますが、洗濯代は最低一圓五十錢もとられ不經濟でありますさりとて洗濯代ををしむとズボンや上衣にシミやよごれがついて見榮えのするものではありませんから是非家庭で奥さん御自身でお洗濯をして下さい。

汗が 洋服に限らず夏のよごれは第一、ほこりが第二ですが、無精をして翌日まで置きますとその間に汗が變化して洗つても落ちません。汗とほこりでよごれたものは時を移さず洗濯する必要があるわけです。大體絹紬、アルパカ、色物はちよつと處理に面倒なところがありますが麻小倉其他の白い服でしたら大した面倒もなく洗濯が出來ます。まづ水に洗濯物を浸してから少しその水で洗ひ、そのあとを石鹸液かソーダ液を使用します。はじめから石鹸をつけて洗ふとよごれがかへつて落ち難くなるからです。洋服類は和服とちがつて型が大事なので洗濯板の上で揉み洗ひするのはやめ二つなり四つなりに折り疊みこれを板の上で刷毛洗ひ、または壓し洗ひをします。この場合毛織物であつたら最初に洗濯をつけ次で石鹸液を加へた微溫湯につけて刷毛洗ひをします。微溫湯といつても夏はわざ／＼わかす必要はありません二時間ぐらゐくみためた水なら結構間に合ひますからこれを利用するがよい。しかし一番よい

方法 は毛織物に限らず麻、木綿物でも前夜水にひたしたのちざつとよごれをとつてから微溫湯に石鹸液を入れたものに一晩ひたして置きますとすつかり朝までにはよごれがとれますからそれを翌朝壓し洗ひをし、水でよく濯ぐと大して苦勞もなくきれいにすることができます。かうしてきれいになつたものは數回水濯ぎをしてから乾すのですが、ポケット等にはとかく石鹸のかすが殘つてをるものですから、水濯ぎをするときは充分さういふ點に注意をします。また乾すときの注意としては上衣の袖やズボンの片足だけを竿に通しますと、型が崩れたり、ズボンですと片足だけ長く伸びたりしますので上衣の場合は必ず洋服掛に掛け、ズボンの場合は長くかけて双方の間を四、五ケ所洗濯ばさみではさんで乾さなければなりません。白いものは炎天にさらすほど

白く なるものですから、充分日光にあてポケットの内部も肩の邊も一樣によく乾いたところで取り入れ、霧吹きをして最初に裏からアイロンをあて、つぎに表をあてます。それでも光るやうでしたら薄い布を上にあてアイロンをかけます。また毛織物はタオルに水をふくませたものをかたく絞つてあて、その上に熱いアイロンでよく乾くまであてます。あとで鏽が出來るのはこの際濕氣をアイロンでとらなかつたことが原因です。なほ度々洗濯するうちにはどことなく赤味を帶びますが、此場合には水二リツトル、クロール石灰半ポンド、洗濯ソーダ七五パーセントの割合でつくつた元液を茶碗に一杯だけ洋服一着をひたすに必要な水に加へてこの中へ洗濯物を二、三十分つけてをき、白くなる程度で引きあげます。また糊ですがこれは洗濯物がなま乾きのときには淡目に、乾さぬうちにつけるのでしたら少し濃目につけて頂くと結構です。

殿方の夏服姿は これが標準

―奥樣よ、手抜りある可らず―

勿論お仕事の性質にもよりますが、夏だと云つてあまり不作法ななりを御主人におさせになるのは貴女方の恥辱です品位を失はないさつぱりとした服裝をおさせになつて下さい。暑くなるとボイルなどの

薄物 のワイシャツを召していらつしやる方がありますが、あれはおよしになつた方がいゝと思ひます。男は素肌をみせないことが洋服を着る國の常識になつてゐますから、ノーネクタイのワイシャツも旅行や郊外散歩の時には無難ですが、色物は洋服と同系統の薄色をお選びになるべきです。

ワイシャツ は白なら一番いいでせうが、フダンはやはりクレープの半えりのシャツ又はコンビネーションを召してチヤンとワイシャツをお召しになることです。ワイシャツは近來、カラーなしのものが流行してゐます。スポーツ好みからきたのでせうが

輕快 でイキなものです。若い方でしたら夏はこれをお召しになつた方がいゝでせう。

ネクタイ は夏になりますと多く蝶型や長いネクタイでも薄物をとくにお召しになりますが、これはたゞ氣分だけの問題で、年中同じものを召してもちつともかまひません。ズボンツリ夏は上衣をお脱ぎになる機會が多いのでズボンツリやバンドなどが目立ちます。

ズボンツリ は身體に樂ですが、お若い方でしたらバンドをお召しになることです。ズボンツリとバンドを二つやつていらつしやる方を稀に見かけますが、これは何の爲かさつぱり分りません。

洋服 夏は白服を着なければならないといふやうにあまり考へ過ぎていらつしやりはしないでせうか、ビジネスには色のあるものを召すのが常識です。

靴 夏は白靴とあつさり考へては色のある洋服に白い靴をはいた方をよく見かけます。しかしこれは黒かチョコレート色で大丈夫です。

ラヂオ

けふの番組

(M・T・C・Y 新京放送局) 十三日(金曜日)

朝

- 六、二五 ニュース(東京)
- 六、三〇 ラヂオ體操、入港船のお知らせ(大連)
- 六、五〇 初等滿洲語講座(大連) 講師 秩父固太郎
- 七、一五 朝の音樂(大連)
- 七、四五 建國體操(大連)
- 八、〇〇 氣象通報(大連)
- 九、〇五 經濟市況(東京)
- 九、三〇 經濟市況(東京)
- 一〇、〇〇 家庭講座(哈爾濱)
- 一〇、二〇 料理獻立
- 一〇、三〇 家庭メモ
- 一〇、四〇 經濟市況(大連、新京)

晝

- 一一、三五 經濟市況(大連)
- 一一、四〇 經濟市況(東京)
- 一一、五九 時報(東京)
- 〇、〇五 晝の演藝 國民歌謠 石川甫 ピアノ伴奏 石川和子
  - 一、國旗掲揚の歌 乘杉嘉壽作詞 下總一作曲
  - 二、牡蠣の殼 蒲原有明作詞 大中寅二作曲
  - 三、夜明の唄 大木惇夫作詞 内田元作曲
  - 四、母の歌 坂谷節子作詞 橋本國彦作曲
  - 五、朝(勞働雜詠) 島崎藤村作詞 小田進吾作曲
- 〇、三〇 ニュース(東京、新京)
- 一、〇〇 經濟市況(大連、新京)
- 三、〇〇 經濟市況(大連)
- 三、四〇 經濟市況(東京)
- 四、〇〇 ニュース(東京、新京)
- 四、三〇 經濟市況(大連)

夜

- 五、二〇 ニュース 演藝(鮮語)
- 六、〇〇 天然記念物めぐり(十六) 石川縣下の天然記念物に就いて 市村塘(金澤)
- 六、三〇 子供の時間 夏休みラヂオ双六(第六日)
- 六、五〇 コドモの新聞(東京) 關屋五十二
- 七、〇〇 ニュース(東京) ニュース、告知事項 番組豫告(新京)
- 七、三〇 室内樂(東京) ヴァイオリン 東儀哲三郎 チエロ 吉川顯世 ピアノ 東儀秀子 ピアノ三重奏曲第五番作品七十ノ一 ベートヴェン作曲
- 八、〇〇 長唄(東京) 石橋(外記節石橋) 唄 杵屋六左衛門外 三味線 杵屋六一郎外
- 八、二五 浪花節(大阪) 鳴物 岡安喜三郎 大石内藏之助山科の血涙 京山小圓
- 九、〇〇 時事解説(東京)
- 九、三〇 時報、ニュース(東京) ニュース、告知事項 氣象通報、番組豫告(新京)
- 一〇、一〇 ニュース再放送
- 一〇、三〇 北滿の時間(哈爾濱)
- 一一、〇〇 滿語の時間

國民歌謠

獨唱 石川甫
ピアノ 石川和子

……石川甫さん……

【後〇・〇五】

國旗掲揚の歌

乘杉嘉壽 作詞
下總一 作曲

一、日の丸の旗 高く掲げて 吾等いざ 祈りまつらむ 天皇の 御國の榮

二、日の丸の旗 高く掲げて 吾等いざ 堅く誓はむ 民草の 心の誠

三、日の丸の旗 高く揚げて … ひたすらに 學びに勵

牡蠣の殼

蒲原有明 作詞
大中寅二 作曲

一、牡蠣の殼なる牡蠣の身の かくも涯なき海にして 生きのいのちの味氣なき そのおもひこそ悲しけれ

二、身はこれ盲目巖かげに たゞ術べもなくねむれども ねざむるまゝに大海の 潮の滿干をおぼゆめり

三、いかに朝明朝じほの 色靑みきて溢るるも 默し痛める牡蠣の身の あまりにせまき牡蠣の殼

四、さもあらばあれ暴風吹き 海の怒の猛き日に 殼も碎けと牡蠣の身の 請ひ禱まぬやはおもひわびつゝ

夜明の唄

大木惇夫作詞
内田元作曲

一、霧は晴れるよ 夜が明ける 風はさゝやく マドロスに 起きよ船出だ帆をあげよ 潮に眞赤な日がのぼる

二、星も消えるよ 夜が明ける 風はさゝやく 鳥の巣に 起きよ歌へよ飛びたてよ 森に眞赤な日がのぼる

三、稻はそよぐよ 夜が明ける 風はさゝやく 若者に 起きよ野に出よ耕せよ 畑に眞赤な日がのぼる

四、草は朝露 夜が明ける 風はさゝやく 牧場にも 乳をしぼれよ積み出せよ 柵に眞赤な日がのぼる

五、火の見櫓に 夜が明ける 風はさゝやく 鍛冶屋にも 打てよ鳴らせよ金鎚を 村に眞赤な日がのぼる

六、高い煙突 夜が明ける 風はさゝやく 工場にも 鐘を鳴らせよ朗らかに 街に眞赤な日がのぼる

七、うれし樂しや 夜が明ける 鐘はさゝやく 家々に みんな目覺めよいさみ立て けふの希望の日がのぼる

母の歌

坂谷節子作詞
橋本國彦作曲

一、ごらんよ 坊や あの海を 沖は朝凪ぎ お陽さまよ 坊や海の子 すくすくと 潮の息吹で 育つわね

二、ごらんよ 坊や あの山を 峰は白雪 あをぞらよ 坊や山の子 手を振つて 今にあの峰 登るわね

三、ごらんよ 坊や あの旗を 風はそよ風 日の丸よ 坊やそも起つて 高らかに 今に「君が代」うたふわね

勞働雜詠(朝)

島崎藤村作詞
小田進吾作曲

朝はふたたびこゝにあり 朝はわれらと共にあり 埋れよ眠行けよ夢 隱れよさらば小夜嵐 諸羽うちふる鷄は 咽喉の笛を吹き鳴らし けふの命の戰鬪の よそほひせよと叫ぶかな 野に出でよ野に出でよ 稻の穗は黃にみのりたり 草鞋とく結べ鎌も執れ 風に嘶く馬もやれ

芒

西條八十作詩
保科幸子作曲

一、芒の中に海をきく かすかに遠い海をきく きみと別れし朝夕の 芒の中に海をきく

二、芒の中にみいでしは にぬりのおぐし君がかみ 芒の中に訪ねしは 古き悲しきその歌

ユーモア・コント

"夢は終りぬ"

青木一夫

相變らず無爲な日々であつた。職にありつけない蕭一平君は、暇な餘り毎日窓に乘り出しては通行人を眺めて暮らした。自動車が通る度に、微震が起るM莊には、彼が期待したアパート生活の影は微塵もなかつた。

梅雨になつてからの或る日しよぼ降る雨の中を、一平君の部屋の前の空家に人が移つて來た。リヤカー一台の荷物である。

「何んな人達だらう」と好奇心だけは滅法強くなつた一平君は、開け放された窓の中を、杉の立木越しにぢつと見入つてゐた。時々强く降り出す雨の爲に搖れ動く檜の緻密な枝々は彼に垣間見る隙をなかなか與へなかつた。目で探れなくなつた今、耳で立向ふより他はない。一平君は全身の神經を雨の耳に集めて、目だけは矢張り窓から外らさなかつた。

其の時である。

「蓄音機は此の部屋よ」

確に女の聲である。彼は飛上つた。そして、ぱつと縮くなつて窓を閉めた。何の爲に俺は縮くなつたのだらうと、一平君は鏡を取上げて顔を映して見た。瞬間、彼はげつそり悄氣てしまつた。キングコング・正しくキングコングだ。彼は學生時代、キングコングの異名を頂戴してゐたのである。ロマンスなんて生れる筈がない。と又しても諦めの心境に落ち込んで、其儘寢込んでしまつたのである。

□……□

突然、彼は美しい音樂に眼が覺めた。梅雨のしめりに沈んだ靜かなレコードだ。ベートーヴェンの「田園」である。露に濡れた清々しい氣持、小川の流れ、突然の雷雨、澄み渡つた感情の調べが一平君の情熱を掻き立てた。

「ようし、俺の口笛で答へてやらう」

一平君は窓を開けた。向ひの家の窓も開いてゐるらしい。彼は思ひ切り高く唇を突き出して、口笛をレコードに合せた。レコードと口笛とは、道を挾んで鳴り合つた。女の赤いドレスが、檜の枝々を埋める樣に點綴するのが見えた。もう一平君は夢中であつた。音樂に少し自信のある彼は「田園」を全部かけ終へた此の女への思慕の情で一ぱいであつた。

□……□

翌朝、ルンペンの一平君は勤めがないので何日もは十時頃起きるのだが、其の日は九時にならない中に起きてしまつた。

窓を開けると、梅雨は上つて、もう日射しはすつかり夏であつた。

「あの女はもう起きたらうか？亭主の姿は見えないから、さしづめダンサーか、女給かな、すると寢坊だな、そいつはもつて來いだ」と音樂戰術で進まうとする彼は、今度はベートーヴェンの「熱情」奏鳴曲を吹き鳴らした。そして今か今かと窓の開くのを待つてゐた。やがて、窓がきいつと鳴つて開かれた。忽ちレコードそれも「熱情」奏鳴曲である。もう一平君は其の女が戀人であるかの樣に有頂天になつた。

彼は鏡を取上げた。喜悦滿面の自分の顔が見度かつたのだ。だが結果は失望であつた。喜べるキングコング、グロテスクの極致である。一平君はすつかり悲觀してしまつた。

そつと向ひの窓を見た。檜の枝を手で押へ乍ら女はにつと笑つた。一平君の心理は又逆轉した。それからは毎日、レコードが彼の窓をきしらせる音に伴つた。女の笑顔も三度に一度は檜の枝々の上にあつた。彼はもう、何うしても女の全身が見たくなつた。彼は愈よ手紙を書かうと決心した。

□……□

其の手紙の返事は斯うである。

「お手紙有難う御座いました。大變面白く拜見しました。あなたの樣な戀文は、わたくしは始めて讀みました。失禮ですが、あなたは戀文を今迄お書きになつた事がありますか、今度が始めてと、御推察申し上げてゐますが、如何ですか、今晩、お暇がおありでしたら、吉野町明菓へ御出で下さいまし」

ぺらぺらな、艶のない便箋にたつた一枚、それも半分しか書いてない。文句も文句である。流石の明朗一平君もてんで見當がつかない。狐につままされた形である。だが、其の夜、いそいそとて明菓に出掛けて行つた。

女はなかなか美しかつた。それもデイトリッヒ張りである。彼が氣がつかずにカウンターの前を通り過ぎると、其の後から肩を叩かれたのである。

ボックスに向ひ合ふと、一平君はすつかり上つてしまつた。

「あなたのお名前は？蕭一平。いゝ名前だわね。今、ルンペン。お氣の毒ね」

一平君はすつかりグロッキーである。可愛らしい戀心などはすつかりけし飛んでしまつた。其の上お互に、默り合つてゐては時々目を見合はすランデヴーの一情景を書いてゐたから、慘々である。

女も疲れたのか、餘り饒舌らなくなつた。彼は勇氣を振つて

「音樂お好きの樣ですが」

「之ゝ、少し」

もう、後は沈默である。

「あたし、申し譯ない事致しましたわ。……御免なさいね」

一平君はすつかり面食つた

「あたしの音樂で、あなたをお苦めして」

「えつ、何ですつて」

「あたし、あなたの樣ない人始めてだわ」

「……」

「あたし、アパートの前の家を月毎に變り歩いてるの。何處でもあゝして、レコードを掛けたり、歌つたりして、男の人を一人つかんじやふの。つかんじやつたら安心なの。自信、さうね、一寸變だけど自信みたいなものがつくの。それもね、譯があつての事よ」

一平君は何が何だかわからない心境である。

「あたし、十九の年に結婚した男から棄てられたの。そしてすつかり、自信なくしちやつたの。意地つ張りだから何とかして、それ、取返さうと思つたの。でも、あなたみたいな男の人、本當に始めてよ」

一平君は其晩、「夢は終りぬ」と怒鳴り乍ら、飲み廻つた。之も生れて始めての事であつた。

学芸

二人 (七)

右田卓二

（三）

新木がかうして消えてしまつたことは確かに二人にとつては明りが消えたと言つて良かつた。そして彼女達の生活は小波の動きでしかなかつたその日その日の小さな喜びそれから思出の反芻の中に晩多の日が續いた。毎日驚く程の寒さが續いて放つたまゝの花壇に大きな霜柱が立ち、庭の黑土は灰のやうにぽく〳〵なつた。その上に神社の欅の枝をとほして朝日が赤く影を落した。

キンは秋田の舍からもとキンの學校の裁縫の先生をしてゐた小柄な下瀬藤子を呼び寄せた。藤子は息子が鐵道員をしてゐるので一緒に林檎の大きな箱を持つて來た。林檎は夕食後の火鉢の傍に電燈に輝かされて冷く光つてゐた。學校に居る時は「おしどり」と言はれた種の此の二人の老婆達には秘やかな話がかはされ時々輕い笑ひ聲がふるえた。藤子は皺の寄つた下にまだ白い皮膚を持つてゐた。その細い指先でくる〳〵と林檎をむくのであつた。

キンにすれば藤子を呼んだのは新木を失つた悲しみのためかも知れなかつた。彼女は新木の大學卒業を待つて自分の學校に入れ、將來は學校の後繼者にしたい處であつたが、そのために新木の學費も出し、更に今度女子大學を卒業した三重との結婚も計畫してゐた。キンが自分で學校を止める時にはまだ新木が居るからと言ふ考へがあつたのであるが、今はどれも駄目になつた。今の狀態では新木の學校の卒業と言ふことすら疑はしかつた。てんで彼が學課に興味を持つてゐないのだ。するとキンには晴子と言ふ女の存在が誇張して考へられた。そのために三十年の生命をかけて盛り立てて來た學校が潰れてしまふではないか？兎角最後に新木に抱いてゐた希望が完全に破滅したのだ。其處から來たあの捨言辭であつた。

キンは新木に晴子との問題が起つた當時、あわてて三重のことをにほはせたりした。

「兎に角、女はしつかりした者でなくてはいけない。夢見るやうな考へで結婚など出來るものぢやないのだからね」

でせう？」

「さう、例へば三重さんなら三重さんで良い……」

新木は急ににや〳〵笑ひ出した。

「現實的な、良妻賢母的な內助の功ある妻ですか？、そして封建的な儒學思想の寺小屋式の……」

キンの顏は見る〳〵怒りのために青黑くなり目があやしく光つて來た。彼女は自分の主義が眞向うから否定されるのを感じた。

その三重は毎日決つた時に歸つて來ると落着いて文江達の仕事の手傳をした。毎日に何の不滿もなく前途に對する不安もないらしかつた。新木三重に關する伯母との衝突をふと聞かされた文江は新しい目で三重を眺めもするのだつたが、何も新しい發見はない樣であつた。三重は少し嗄れた男みたいな聲で話し、淺黑い肉付の良い大きな體格をしてゐた—そして女らしい節度の中に振舞ふのであつた。文江は近頃突合ひ出した齋藤のことを考ひると、やつぱり自分の方がいけない女だと思つたりした。齋藤は彼女の幼なじみで遠縁に當つてゐた。一昨年以來の此の私立大學生との交際は近々文江の中に何か新しい氣持の變化を起してゐた。近頃酒に浸つてしまつてゐる此の地主の次男にねえ酒を止めなさいと彼女は忠告めいたことを言ひ、齋藤は止めやうと思ふけれども出來ないんだと言つて顏を暗くするのであつた。新木の白く引き締つた顏と反對に、齋藤は黑く水平な眉を持ち淺黑い體格は頑丈にしまつてゐるのだが、如何してから弱い神經を持つてゐるのだらうかと文江は悲しまざるを得なかつたふと彼女はさう言ふ自分の姉みたいな氣持の中に動いてゐるものを氣付くのである。新木の云つたことが何か彼女の氣持を感傷的にし、文江はむしろ自分の齊藤に對する氣持を認めやうと思ふのであつたら、すると若し晴子が居なかつたら、屹度自分は新木の方に崩れて行つたかも知れないと今となつて新しく氣付いた。

「ねえ、わたし夢を見たわよ、それが失戀の夢なの……」

文江は或朝食事のテーブルで話し始めた。

「とつても悲しくつてね、起きてみたら本當に涙が出てゐるの。それは〳〵夢の中で苦しくつて泣いたものね。それがとても素的なのよ。雪が積つてゐて葦の生えた河なの其處を船に乘つて人形の島田の娘と侍が下つて行くの。私がそれを岸に立つて見てゐるのよ、そしてとつても悲しいの。わたし確かにあの侍さんに本當に失戀してゐた所だつたと思ふわ……」

置き忘れた書

厘堂寺盈

文藝趣味？とでもふ樣な言葉が妥當か否かは今の場合考へられない、だが尠なくとも文藝關係の發刊物に親しみを感にて居た當時からすると、遙かに遠い時代、置き忘れて來た書籍のやうにしか思はれない此項だ。そして其頃の人々の今は？それに其人々の今頃の心持ちは一體何處に居るんだらうか、そんな事を宛然夢でも進ふやうな氣持ちで見つめてゐる。其頃の人、それは大連に滿洲詩人、大連小劇場新劇協會、又民謠社、舞踊研究所等、それ等の華やかな時代だつたからもう其當時の人々と云つても黃泉の人もある事だらうし、その置き忘れて來た書籍には各頁毎に忘られない記錄も殘つてゐるのだ、が今の僕にはそれを取返しに行く氣力も又その頁を開きたい懷古意志も微弱なものになつて終つてゐる事に氣づく、つまらないセンチを書いてすまない事だ。

女流七家撰 (五)

皇軍慰問

安永廣子

百二十度暑熱みなぎる野の原に戰かはす皇軍を思ひていみじき

民吾等心一つに祈らばや戰雲の掩ふ北支の空を

やごとなき皇軍なれや北支の空に起る烽火を鎭ませ玉ふ

征衣を涌す汗もここだく暑の中に水はともしと聞きてかなしも

おみな我れ祖國に報ゆ一はりと極まる心慰問品縫ふ

東洋の平和を保持に皇軍の鬪ひますもみいづなりけり

あかときをさめて整ふ身仕度や演習參加の夫送りつつ

ラヂオドラマ入選作

—小澤靜香「北滿の宿」—

バクゲキキ

「滿洲行政」八月號で小澤靜香「北滿の宿」といふのを讀んだ。放送文藝二等入選作である

北滿を女の助手を連れて旅行する民俗學者。その人の妻は奉天にゐるとかいふのだが夫婦仲はうまく行つてゐないらしく、その女助手との間に特別な交渉が生じやうとしてゐる。それを避けやうとして女を歸さうとする、其處までは割りに好感をもつて讀めたのだが、學者の弟といふのが現れるに至つて甚だブチコハしとなつた。こゝで戲曲は甚だお粗末なものとなつてしまつてゐる作劇術の拙い行使の實例であらう。このままではどうどのやうな名演技をもつてしても救ひ難いと思はれる。（B・J）

觸目雜記

川內堯

最近、內地の新聞に出る小說がどうも一體に餘り面白くないやうに思ふのは私だけであらうか？

武田麟太郎が氣負ひ立つて「風速五十米」といふのを朝日に書き出してゐるのだが、どうも今までの所では面白くない。病臥してゐるブルジョアの青年を重要人物の一人にしたのがすでに彼らしくない選擇ではなかつたらうか？

朝日の「旅路」は近頃途切れてゐるやうだが、徒らに低迷してゐて、持殊な讀者だけにしか訴へまい。

わづかに菊池寛の「新しき鷹」が、新しい女の性格を描き出さうと努めてゐるやうだが、所詮それも類型的で終りさうに思へる。

深田久彌の「鎌倉夫人」が僅かに意氣を示すものと言へやうか。其處に有閑夫人たちと巧みに對照させて、働く若い女たちの集團を描きつゝあることは注目されてよからう

藤澤桓夫の「新しき歌」も一向新しく無ささう。

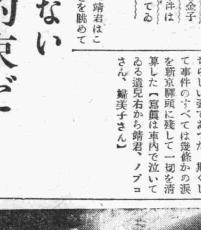
雜誌を見渡しても注目すべき大作も近頃は無いらしい。

もつとも以上は筆者の眼の屆いた範圍でのことだから、出來たら訂正したいもの。なほ讀みせいと思ひながら、讀めずにゐるものもあることはあるのである。少し時を經てから問題になつたものを讀み返したりするのも興味あるもの。色々みんなで感想を書いたりすることを努めてはどうであらうとこゝに提唱して置かう、（八、一〇）

亡父の保險金繞る 遺兒引取問題解決
千五百圓の手切金を繼母に 三姉弟は祖父の許へ

既報、病死した父の殘した生命保險金五千圓の受取人姉弟三人を繞つて原告祖父栃木縣上都賀郡足尾町五、四九七番地三浦利作氏代理人同氏四男足尾小學校訓導金子繁夫（二八）氏と繼母永樂町三丁目七アパート永樂軒高橋タケノさんとの訴訟事件は領警署西見檢事々務取扱によつて取調べられその成行に對しては頗る注目されてゐたが、同檢事の調停により事件は急轉直下示談成立した

即ち問題の遺兒ノブコ（一六）婦美子（一四）靖（一〇）の三人は祖父方に引渡しタケノさんは三浦氏より手切れ金として千五百圓を受取ることゝなり十二日金錢の取引も淸算されて原告代理人金子氏は三兒を連れ午後五時三十分發列車朝鮮經由で出發した、驛頭には繼母タケノさんと身內の二三人の見送りで悲しい情景であつた、血肉を分けた母と子ではなかつたとしても二年を母と呼び子と呼ばれた仲であり、まして父を失つた悲しき追憶の地を去る姉妹にとつては泣かずには居られなかつたであらう、お互に別れの言葉を述べて姉二人は車窓にも顏を出し得ず車內にさめ〲と泣きくづれ、母は人前をはゞかつてか溜淚に齒を喰ひしばり何も知らぬ靖君はこのさまをきよとんと眺めてゐたが事情を知るものにはいぢらしい姿であつた、斯くして事件のすべては幾條かの淚を新京驛頭に殘して一切を淸算した【寫眞は車內で泣いてゐる遺兒右から靖君、ノブコさん、婦美子さん】

"金が目的ではない 亡父との約束だ"
迎へに來京した金子氏語る

原告代理金子繁夫君を驛前巴旅館に訪れると三人の遺兒と故里への買物を終へて歸つたところ宿の一室で左の如く語る

今度の訴訟については斷じて五千圓の金を目的としたものではない、兄金次が死ぬ時五十日の期間をきつて子供を引取る事を言明したもので、高橋さんの方もそれは承知してゐた筈である それ故に三月初旬子供の歸國旅費として百圓を送つた三月七日には兄の加入した保險金の受取人が靖名義であることを高橋さん等は知つてゐながら十二日目下吉林に居る實兄三浦市松を交涉に來さした時否定しその上子供を渡さないと急に態度を變へたものでその心中果して子供への愛か金であつたか伺はれると思ひます、然し先方が急に態度を變へたについては背後に黑幕があつたやうでした、この問題をこゝ迄導く意思は我々には少しもなかつたが先方の態度に對し行きがゝり上やむを得なかつた、解決について千五百圓を渡すことは何か我々に弱點あつたかの如く思はれるものであるが、子供を引取る上に於ては民事訴訟を提起してでもやれることであることは承知してゐたもので一時はさうも考へたが、もし斯くして事件を長い間爭つた後先方が金の受けとれなかつた場合子供がどうなるかそのみじめさを考へるとき決して金の問題では無い、また檢事の取計ひもあり一日も早く解決の上子供を引きとりたいと思ひましてこの調停案を承諾しました、遺兒も我々にとつては肉親ですものまして兩親のない子であることを思ひます時可愛ゆくなくてどうします

"唯、子供達が倖せである樣"
生さぬ仲のタケノさん語る

被告高橋タケノさんは生さぬ仲の三兒との別離に泣きはらした眞赤な目に發車の後驛頭で語る

三浦さんの方も色々とおつしやつてゐるやうですが事情一切は檢事局でありのまゝを申上げてゐますしその上の取計ひのことですから別に今さら申上げやうとは思ひません、夫の死亡後子供引取りについて三浦さんの方では五十日の日限を切つて引取るやうにおつしやつてゐますが決してさうではありません「子供を賴む」との證據の書類も持つてゐます、然し解決された後多く言ひたくありません、せめて子供でもあつたら生活にはりあいもあらうと思ひますが今さら致し方もありません、唯子供が倖せであつてくれることを祈るのみでございます

遺骨廿九体 今朝十時半南下

時局重大の秋北滿で殪れし二十有七勇士遺骨は十二日午後四時三十分着列車で到着した驛頭には關東軍幕僚、在鄉軍人、國防婦人、學校生徒兒童その他一般有志多數の出迎へあり、途中行列をもつて安置所太子堂にいたり、同夜は八時十五分着（三十分延着）列車で吉林から到着した二體とともに午後九時からしめやかにお通夜が營まれたが、遺骨は十三日午前十時半發列車で內地へ無口の凱旋の途につく豫定である

滿洲國軍最高顧問 平林少將着任

今回の陸軍異動で佐々木少將の後を襲うて滿洲國軍最高顧問に就任した平林少將は、十二日午後六時二十分着あじあで着任した、驛頭には關東軍幕僚を始め于治安部大臣以下滿洲國軍人など日滿軍人、一般多數の出迎へあり治安部差廻しの自動車で公館には入つた【寫眞は驛頭で于大臣に挨拶せる平林少將】

白衣の勇士南下

十二日午後四時三十分着列車で白衣の勇士二十九名がハルビンから到着、新京陸軍病院に入院中の五十名とゝもに同時發列車で南下、內地へ還送された

殉職電々社員等の遺骨 昨日大連着

【大連國通】過日通州で殘虐な支那兵のため殉職した電々會社社員通縣自働電話局勤務の古田唯四郎、鈴木樹一、松本嘉右衛門三氏ならびに同社々員家族一名の遺骨四柱は十二日正午入港の昌平丸で關係者多數に迎へられて着連した右三氏の遺骨は十二日夜新京に送られ電々會社々葬が營まれる筈

今村少將赴任

步兵學校幹事に榮轉の今村均少將は十五日午前八時四十分新京發羅津に向ひ、十六日午前十時同地出帆の滿洲丸で赴任の途につくことゝなつた

笠原少將、けふあじあで着任

駐滿大使館附武官陸軍少將笠原幸雄氏は十三日午後六時廿分着あじあで着京、直ちに驛貴賓室において出迎への日滿要人に着任の挨拶をなす豫定である

高い家賃緩和に 遞信協會乘出す
民生部裏に住宅五十戶建設

在京サラリーマンの生活の癌となつてゐる住宅難は〃家賃高し〃の輿論とともに建國後五ヶ年を經過して未だ解消されず殊に最近では滿洲國機構改革に伴ふ地方官署の新京移轉、新設事業會社の創立に依つて益々その逼迫を告げてゐるが、過般郵政從事員を一丸として設立された財團法人遞信協會ではこの住宅難、高家賃の緩和策として工費三十一萬圓を以て民生部裏手に住宅を建築することゝなつ（た）、即ち土建材料昂騰により國都の建築は昨年來の繼續工事及び主要官公衙の着工を除くの外はウンと減少して、新京名物？の高家賃は掛聲ばかりで引下げが行はれず、矢張り一疊四圓前後が通り相場となつてゐるので、遞信協會では差し當り六十萬圓の豫算を以て新京奉天、錦縣の各地に百五十戶の住宅を建てることに十二日の全滿秘書處長で決定、即時工事に取掛ることになつたものである、勿論現在の國都に五十戶の住宅は燒石に水のやうなものだが、一部官吏を以て組織された財團法人の團體が住宅建設の擧に出でたことは將來への對策に多大の示唆を與へるものと注目される

全亞細亞踏破目指す 鐵脚青年來京
武田君、三ヶ年の張切りプラン

全亞細亞踏破を目論んでその八分通りを完成した青年が十二日新京天安路大陸公館に草鞋を脫いだ

この青年は鹿兒島縣出身の慶大文學部三年武田信近（二五）君で、これから單身戰亂の北支を經て雲南に南下した上、四川、甘肅を北上し新疆を迂回して秘境西藏の南麓を通りビルマに拔けようといふプランである

同君の全亞細亞踏破は三年前から實行され、昨年の八月から今年三月にかけては西南、中央、小亞細亞の各國を經續つてゐる、あと一年半位の間に外蒙と西藏を除いた以外は全部踏破して見せると大した張り切り方だ、踏破の目的といふのは「日本主義を全亞細亞に」といふスローガンで集つてゐる同君達のグループが同志の家「大陸公館」を亞細亞の各地に建てる下調査だといふ

昨年の十月シヤムからビルマへ拔ける山の中で人喰蟒に襲擊されたり、ビルマのパーブンでスパイ嫌疑の下に逮捕されたりしたが棍棒一本持つただけで未開國を今日まで無事で旅行出來たことはどんな場合でも相手の敵意に無抵抗であつたためではないかと思ふと武田君はチヨツピリ未開地旅行哲學を語つた【寫眞は武田信近君】

履物、和洋雜貨商組合 聖德會から獻金
外に少年少女の金品も寄託 愈よ募る愛國熱（本社扱ひ）

◇……十二日午後本社を訪れた市內吉野町二丁目小林履物店小林儀左衛門、三笠町二丁目森履物店主森權三兩氏は新京履物商組合を代表し同組合からの恤兵獻金として五十圓の寄託申出があり受託

◇……おなじく十二日午後本社へ社團法人新京聖德會々長赤羽一二氏の代理として同會理事淸水祐之助氏が訪れ、聖德會から北支にある皇軍慰問費として獻金したしと金三百圓の提供があつた

◇……又日本橋通り金泰洋行主石黑伸治郎、吉野町廣春洋行主吉田廣盛、東二條通現代號主茅本喜一の三氏は新京和洋雜貨商組合を代表して來社金二百圓を恤兵獻金によろしくとあり

◇……又おなじく午後本社を訪れた三人の少女、これわづかですが北支で御國のために戰つてゐらつしやる兵隊さんに何かあげて下さいと差出したハンドバツク入りのお金あけてみると紙幣銀銅貨とりまぜ十二圓十二錢あつた、どうしたお金ですとたづねると三人が街へ出て縫糸を賣つて歩いて集まつたお金ですといふ、この三人の少女は市內東二條通り五十に住む八島小學校の六年生上杉かほるさん、同二年の上杉榮子さん、同六年の大津きゑさん

◇……次はこれ支那軍膺懲の聖戰に北支で活躍中の皇軍慰問に加へてくれたまへ、と威勢のいゝ男兒、ズツシリ重い慰問袋を二個置いて歸つた、これは市內梅ヶ枝町四丁目三〇の井戶茂一君

◇これは夏休みを利用して幼い姉妹三人が庭にこぼれた鐵屑を賣つての尊い恤兵獻金「少いですがこれを北支の兵隊さんに差上げて下さい」と十二日午後本社を訪れ五圓四十錢入り封筒を差出した、少女は新京住吉町四ノ四鐵材、石炭商松田良介氏長女三笠小學校六年生愛子さん（十三）で夏休に入ると一しよに妹のタツ子さん（十）文子さん（六）と三人して庭にこぼれた織くづを丹念に拾ひ集め、手に持てない程重くなつたので十二日早速同町入舟鐵工所に賣却代金五圓四十錢を得たので早速本社にかけつけたもの

◇…十二日午後八時二十分頃聲をはずませ獻金箱を小脇にかけ込んだ少女二人、三笠小學校四年生中西サダ（十二）さん同二年生高橋シズ子（九）さんで、明日から夏休みが終ると言ふので炎熱の街頭に立ち朝から陽の暮れ落ちるまで通行人に呼びかけては箱に投げこんで貰つたお金をそのまゝ「大好きな兵隊さんに上げて下さい」と差出した、銅貨銀貨とりまぜて中西さんが八圓三十八錢、高橋さんの方が三圓九十一錢の勘定となつた

グライダー第二期の 正科員始業式
婦人も交り昨飛行場で擧行

空のパイロツトの搖籃であるグライダーに對する關心は近時漸く若人の認識を高めつゝあるが、滿洲飛行協會新京支部ではさきに十日間の合宿練習を行ひ多大の收穫を見たが第二期正科員の募集を行ふや應募者は俄然殺到し中には妙齡な婦人の積極的參加もあり頗る盛況を極め非常時局を反映させてゐる、第二期正科員の始業式は十二日午後二時より新京飛行場にて行はれたが支部長代理阿久津大佐は新科員に對し大要左の如き訓示をなした

グライダーはすでにオリンピツク乃至は東洋大會の競技種目に上程すべしとの話もある通りグライダーはスポーツとしても新時代に相應しいスポーツであり水陸空と並行したスポーツでなければ文明國のそれとは言ひ難い、しかし諸君はいたずらにレコードを作ることを主眼としてはいけないあくまで團體競技として無我無念のうちに技を磨き一德一心の實を擧げられんことを切望する

滿洲飛行協會 理事會開催

滿洲飛行協會では、さきに同協會並びに防空協會の合同理事會に於て決定を見たる國防費合同募金に關してその具體策を考究中のところその成案を得たので昨十二日午後三時より中銀クラブに於て開催された理事會に之を諮つたが大橋會長始め植田、關屋、阿久津其他各役員十二名出席し審議した結果、滿場一致成案を可決、近くこれが猛運動に着手することゝなつた、なほこれに引續いて阿久津大佐より八月下旬に行はれる航空少年團員の飛行品、自由畫展覽會の細目に亘る說明があり、次で九月飛行協會創立一周年記念事業としてグライダー競技會を開催するの件を可決した

附屬地新改築店舖 六十八軒

國都建設局管下の發展に伴ひ新京日本側商業の發祥地附屬地の繁榮が漸次新市街方面に奪はれつゝある現況に鑑み滿鐵では從來の商權を確保する一策として附屬地內表通りに面した商舖の舊式家屋の改築を慫慂し來り前年度に於て約二百軒近くの改築を見たが本年は著しく見苦しい家屋が減少したのと宛かも着工期に當り約二割五分乃至三割の材料暴騰に災ひされて八月十日までの新築家屋は三十九、改築十五、增築十四合計六十八これが建築費概算は三十五萬圓に上つてゐる

暗黑街一掃 不正半島人を善導

協和會首都本部では中央本部の不正業者肅正救濟の方針に基き先づ朝鮮人分會と協力して新京市內の不正半島人善導に乘り出すことになり、一定の職業を有せずに不正業に從事してゐる者に對しては改心せしめた上、鮮農として移住せしめる案を樹て準備を進めてゐる、即ち移住地は濱江省葦河縣地帶で移住費、農耕資金等は拓政司第二指導科の斡旋で滿鮮拓植から融資し年賦償還により自作農を制定する內容であるが、現在移住見込のついてゐるものは二百八十餘戶あり九月までには移住地に家屋、耕地その他の現地準備が完了、同月初旬から移住開始をみる模樣で、新京の暗黑街もこれにより一段と明朗化するものと期待されてゐる

佐々木少將けふ はとで赴任

治安部最高顧問佐々木到一少將は今回の異動で第十六師團步兵第三十旅團長に榮轉、十三日午前十時新京驛發はとで赴任する筈

青年學校教官 淸大尉着任

新京青年學校では下村少佐轉出以來長らく教官が缺員中であつたが、今度淸大尉が任命され十二日午後六時二十分着あじあで着任した

地方民から古賀司令官の尊稱を奉られてゐる首都警察廳の市外遊動班長古賀巡官▼一兩日中にまた匪賊檢擧に某方面に出張するが前記尊稱も宜べなる哉、同巡官御入來と知れば匪に旗持つ輩はさつと姿を潜めるのはまだしもそこらあたりに晝寢してゐる猫までがそゝくさと小路に走り、それ「古賀巡官が來た」と言へば泣く子がだまると言ふ▼六尺豐かの堂々たる體軀、その行はれた威令や思ふべし

義人長七郎（十）

（禁上演映畫化）中川雨之助
竹枝一郎畫

旗本斬り（五）

長七郎と琢兵衛との問答を聞いて、

「そつちは苦しう無うても、こつちは苦しいぞ」

と、小十郎いよ〳〵肚の中で、悲鳴を揚げましたが「行けッ」と、琢兵衛に肩を突かれて、ヒヨ〳〵と歩いて行きます。初めの勢ひ何處へやら、首うな垂れて、屠所の羊の歩みです。

騒ぎの收まるのを待ち兼て、次の間からコソ〳〵這ひ出して來た仙之助。

「あッしが飛込んで來たばつかりに、殿樣に飛んだ御迷惑をかけまして……」

と、後難が恐ろしいので、ブル〳〵顫へて居ります。

其處へ、親子の身を案じて永楽屋幸兵衛が、番頭忠八を連れてやつて來ました。

永楽屋の主人幸兵衛、番頭忠八の兩人は、早速長七郎に目通りをして、御禮を申上げました。

長七郎は、そこで初めて、仙之助が隣家の永楽屋の息子であるといふことを知りました。

「商人の家に生れながら、無斷に身を持ち崩すとは、何事であるか」

といつて、懇々と御意見をお加へになつたので、親子の者は有難涙に咽びました。

もつとも、幸兵衛親子は、今の今まで、相手をそれほど高貴な人とは想つて居なかつた。斬り屋敷とは云ひながら、引越てからまだ間がないので、なにも知らなかつたのです。

ところが今夜初めて、これが噂に高い駿河大納言の若君長七郎殿であるといふことを知つて、一同の驚きは一ト通りではありませんでした。

殊に仙之助は、

「思ひがけなくも長七郎樣に助けて頂いて、その上、御親切なお言葉を頂戴するなんて、勿體ないことだ」

と、身に餘る冥加のほどを喜びました。

偖てこちらの話は、これだけにして置いて、納まらぬは一方の旗本連中です。

鳥居鐵太郎に平岡新九郎の兩人、捕虜にされた小十郎を助けるどころか、命から〴〵這々の態で長七郎の屋敷を逃げ出した。

築地の南小田原町から、河岸傳ひに、西へまつすぐに一ノ橋を越えて木挽町四丁目の角、木挽橋の東詰、柳並樹の處まで駈けて來ると、ちやうど橋を渡つてこつちへやつて來る一人の男と擦れ違ひました。

「オヤ、鳥居さんに平岡さんぢやございませんか、大層慌てゝ、どうかしたんですか。え、喧嘩なら片肌脱いであげますぜ」

だしぬけに聲をかけられ、兩人は驚いて振かへりました。

「あ、太助か」

といひながら、今更自分たちの姿に氣がつくと、きまりの悪い兩人でした。一人はタラ〳〵と額に血が流れて居るし、一人は、片足だけ履物を穿いてゐる、まるで慌て者が地震に遭つた格好です。

太助と呼ばれた相手の男は、双子の袷に、めく〳〵の腹掛といふ勇肌で、これがいま評判の一心太助。駿河臺の狸爺大久保彦左衛門の肌押で、神田三河町二丁目に肴屋の店を開いてゐる賣り者。

「大層血が流れてますぜ。オヤオヤ鼻緒の切れた履物をブラ下げて、なんてダラシの無え格好ですい」

「コレ太助、往來の者が、クスクス笑つて行くではないか、もつと小さい聲を仕ろ……實は申すも面目ないが、われ〳〵旗本一統の浮沈に關はる一大事出來に及んだ」